

To my fellow fans -

Recently, a member of the community named Blud typed out a informative, and well written page that detailed the exploits of Narutofan creator Tazmo.

The point of this was to further spread the awareness of who Tazmo is, what he does, and why it is wrong. However, things like these tend to eventually need updating, and that is why this has been typed out.

What Blud stated is all very correct. However, it must be brought to everyones attention that Tazmo has expanded into full blown, stand alone websites that he has referred to as "revolutionary services".

http://www.anime-plus.com

and

http://www.manga-plus.com

These websites seek to misinform manga and anime fans across the world into believing that his services are fair, the only one of their kind, and more secure than using other resources such as IRC or BitTorrent to get what you want.

The truth is as follows: Tazmo himself uses IRC and BitTorrent to get the files on his websites. He uses the FREE resources that every single one of you can also use, so that he can charge you various fees for getting what is FREE.

Tazmo is profiteering off of a FREE service provided by various members of the anime and manga community who donate their spare time to bring the latest manga and anime to you for FREE. They donate their time, work, and abilities in various areas, as well as use their own bandwidth to serve files.

There are various FREE ways to get and read the manga you want. There are free online readers such as http://www.mangahut.com.

http://www.mangahut.com.

There are also resource websites such as http://www.mangashare.com, as well as database resource sites such as http://www.mangaupdates.com.

There are thousands of people who work thousands of hours weekly to bring you the manga you love to read, as well as the anime you love to watch. They do it not to make a profit, but for FREE as a FREE service to the community that we all love very much. EVERYTIME TAZMO MAKES MONEY OFF OF THEIR HARD WORK HE NOT ONLY INSULTS THEM, BUT INSULTS ALL THOSE WHO PAY FOR HIS SERVICE. Do the right thing, stop supporting Tazmo.











故隆慶郎先生に捧ぐ



KEIJI OF THE FLOWERS
-ON THE OTHER SIDE OF THE CLOUDS-



卷

COMPLETE EDITION
WRITTEN BY RYU KEIICHIRO
MANGA ADAPTATION BY TETSUO HARA
VOLUME 1

TABLE OF CONTENTS





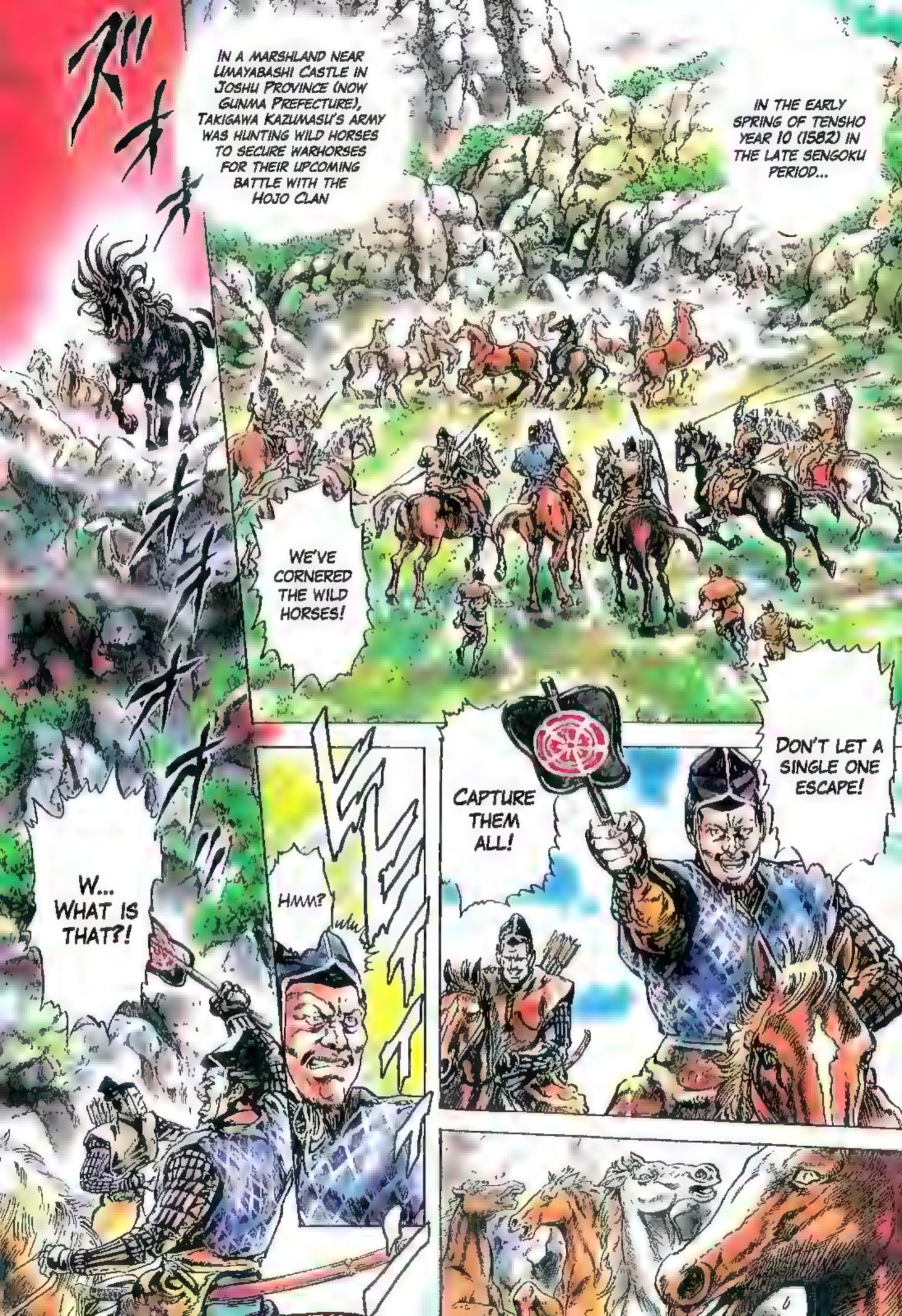
| CHAPTER 1: THE LICENSED KABUKIMONO | 013 |
|--|-----|
| CHAPTER 2: THE GROWLING BEAST'S SWORD | 061 |
| CHAPTER 3: WOUNDS OF LOYALTY | 111 |
| CHAPTER 4: MANLY BLOOD BOILS!! | 137 |
| CHAPTER 5: THE AUTUMN FLOWER | 159 |
| CHAPTER 6: THE GENERAL'S LAMENT | 179 |
| CHAPTER 7: PLEDGE OF THE CHRYSANTHEMUM | 205 |
| CHAPTER 8: TO LIVE OR TO DIE | 227 |
| | |
| 花の慶次 特大戦国絵巻 | 005 |
| 花の慶次」と人 | 247 |
| 捨丸のたららん瓦版① | 250 |
| 追悼エッセー 原哲夫 | 252 |
| 追悼エッセー 麻生未央 | 254 |
| | |





















HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/









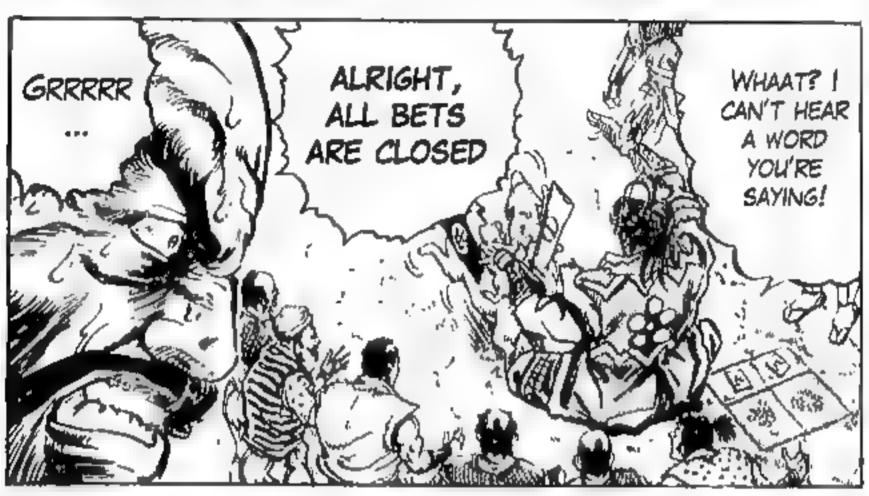




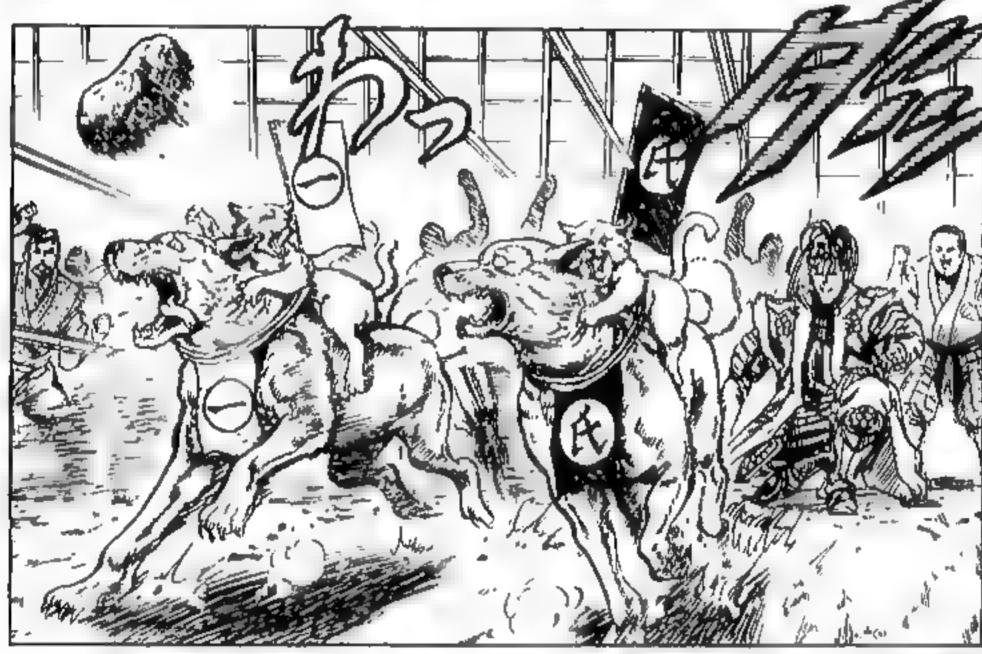


















花の慶次 壱 024







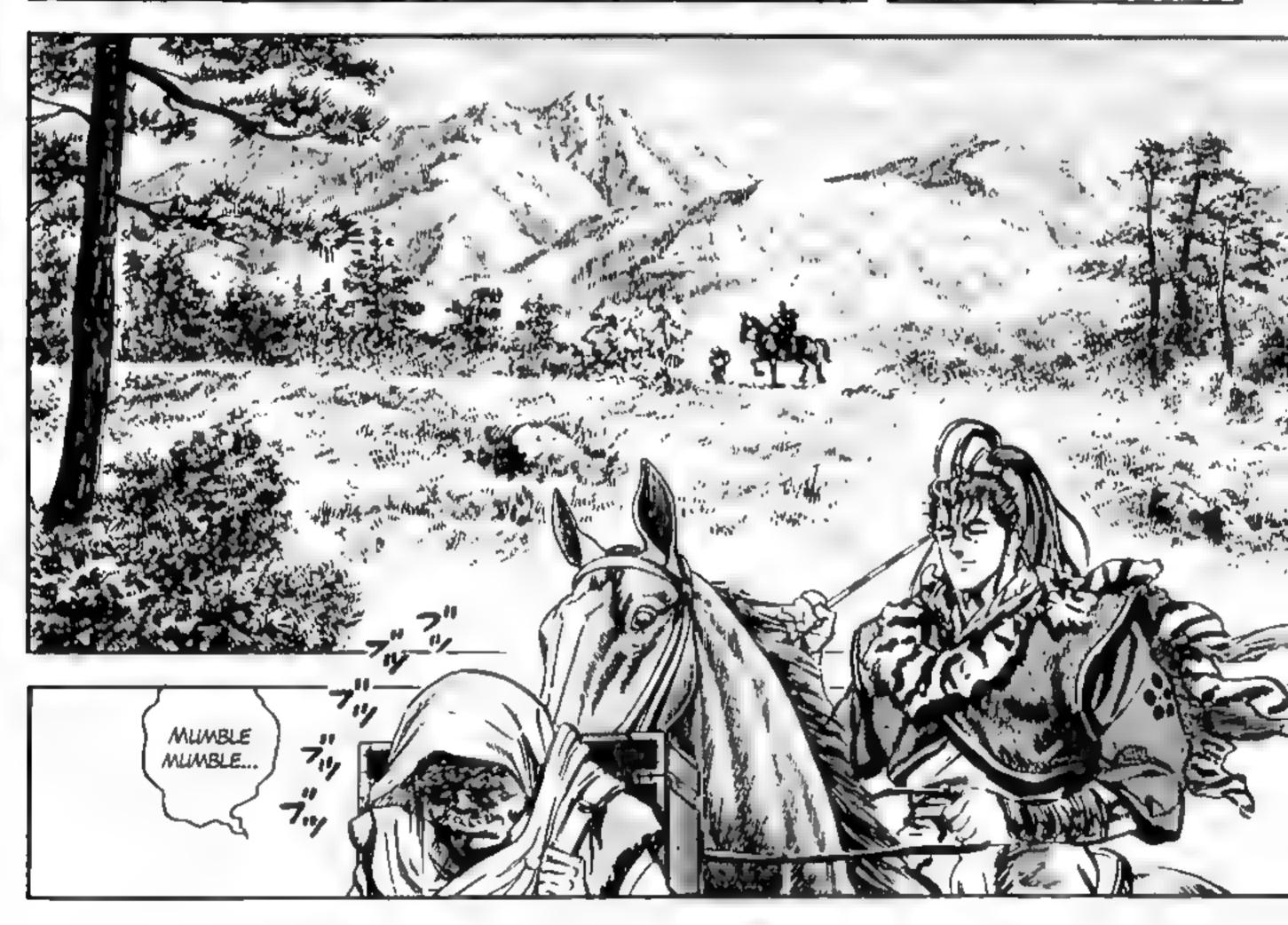














































花の慶次 壱 032













WHAT A



H...HE SAW THROUGH ME!















花の慶次 巻 036



















SEE, LOOK!



























































































HANA NO KEIJI

CHAPTER OI BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

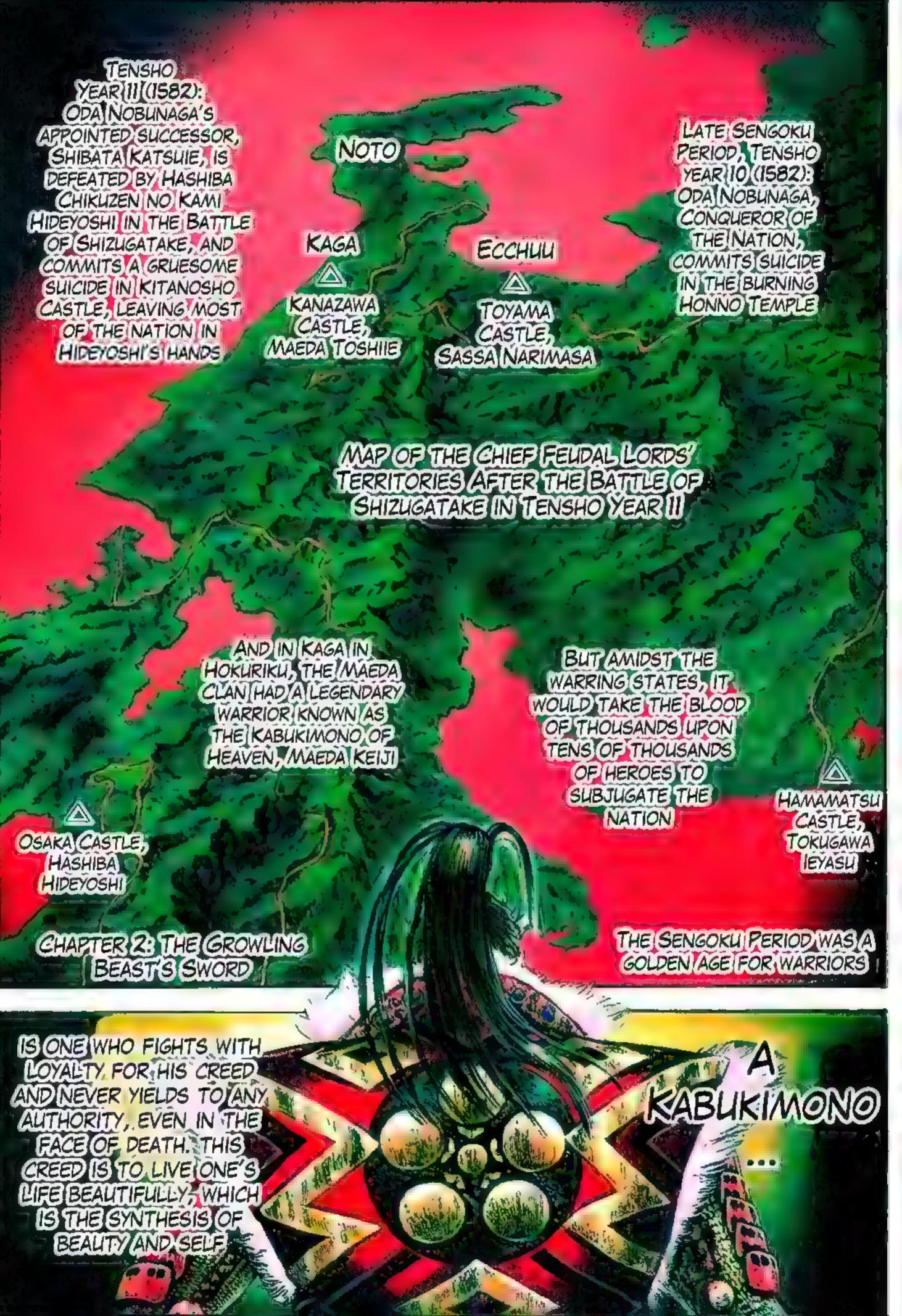
TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/







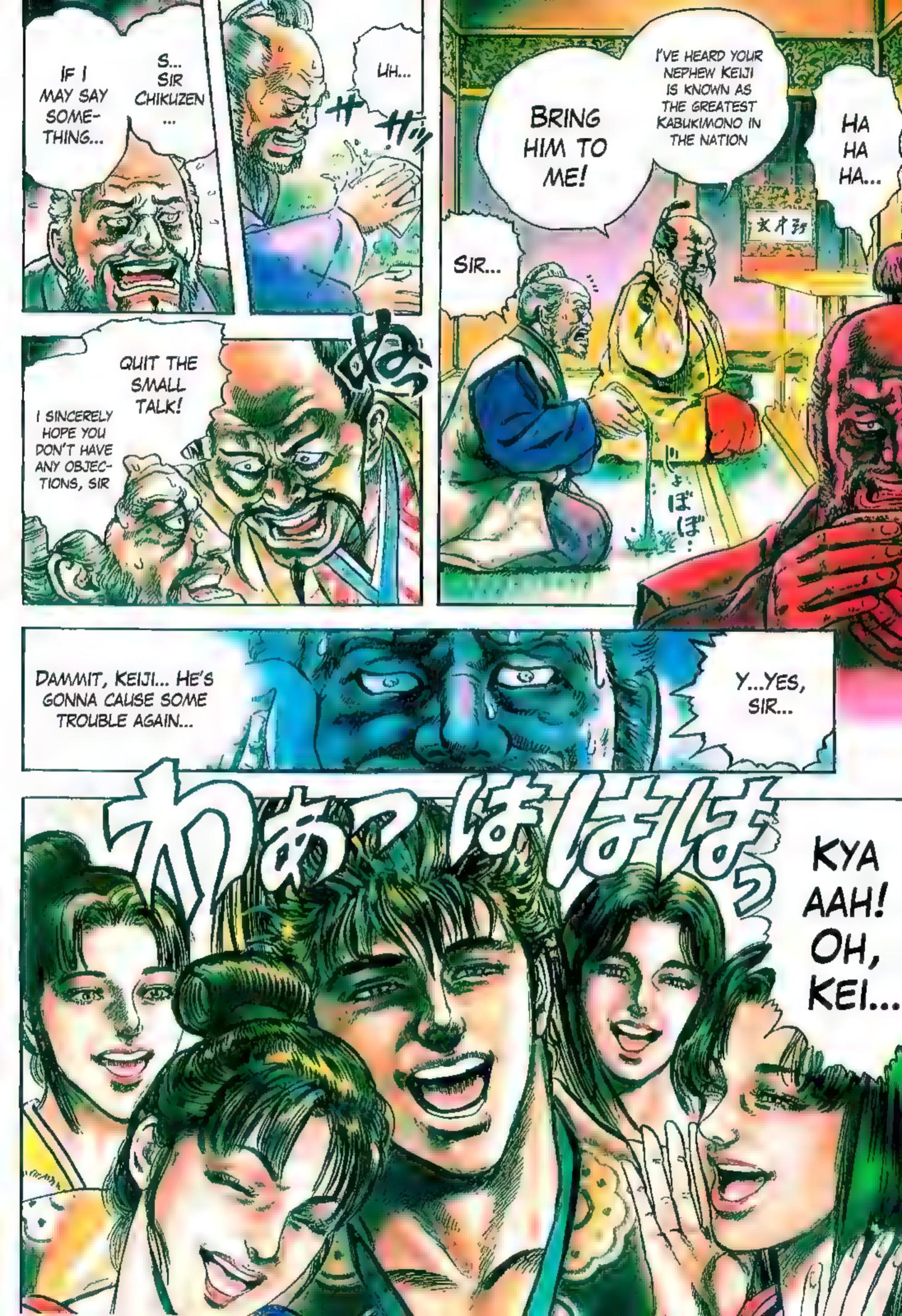






























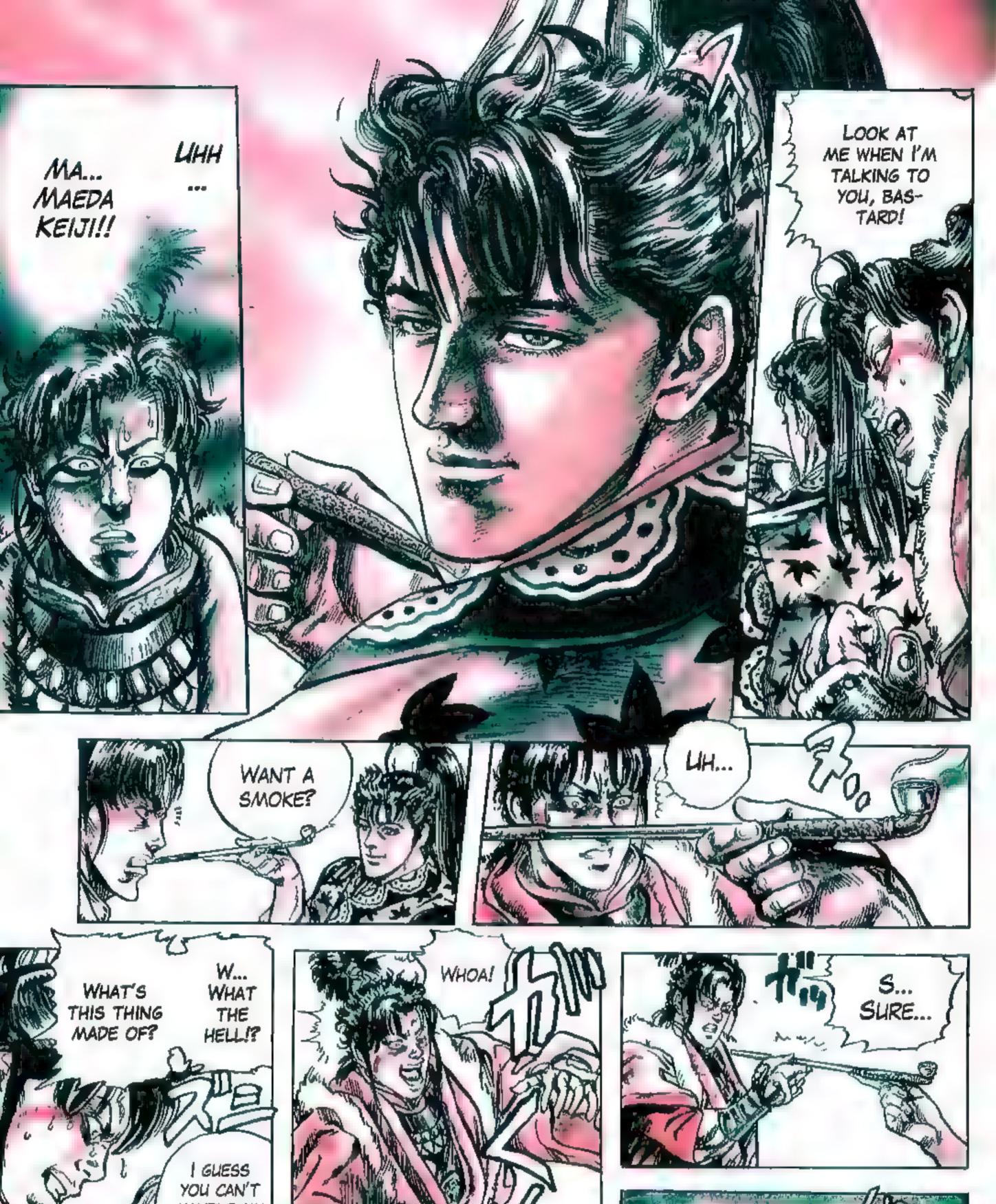






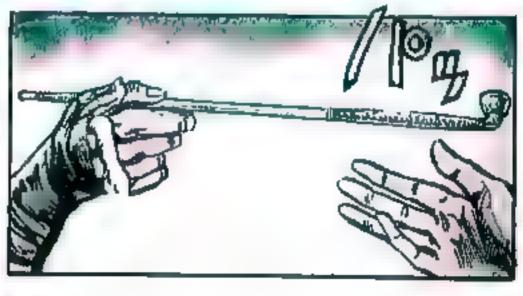


































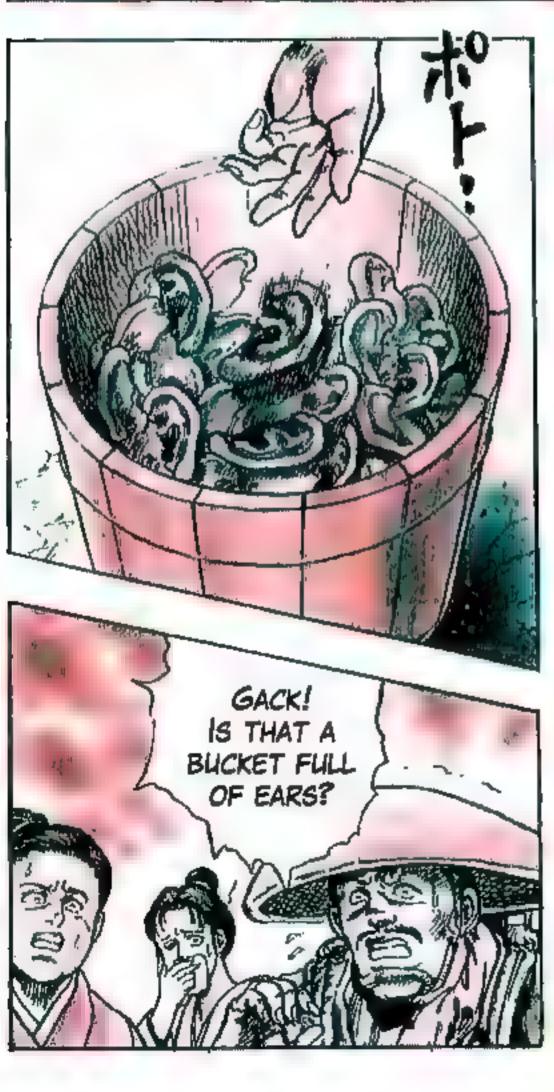


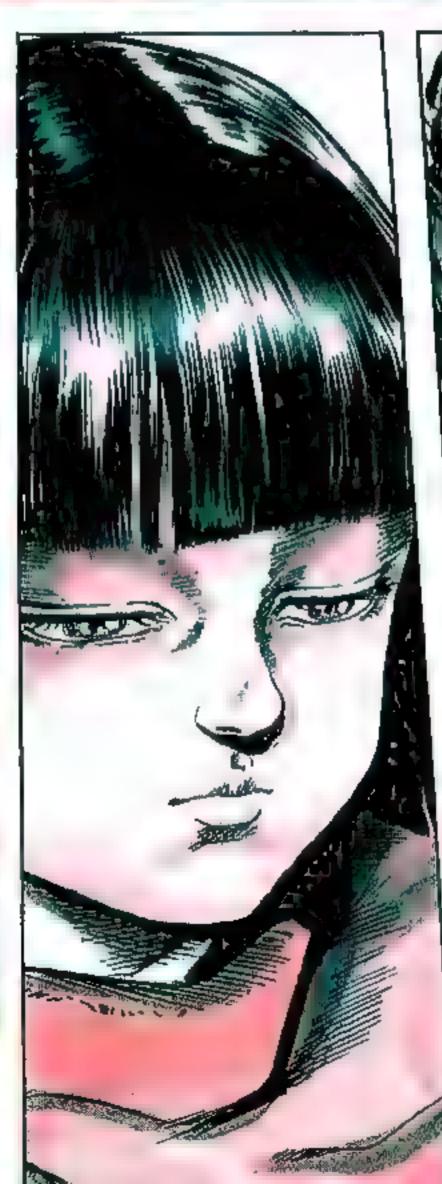










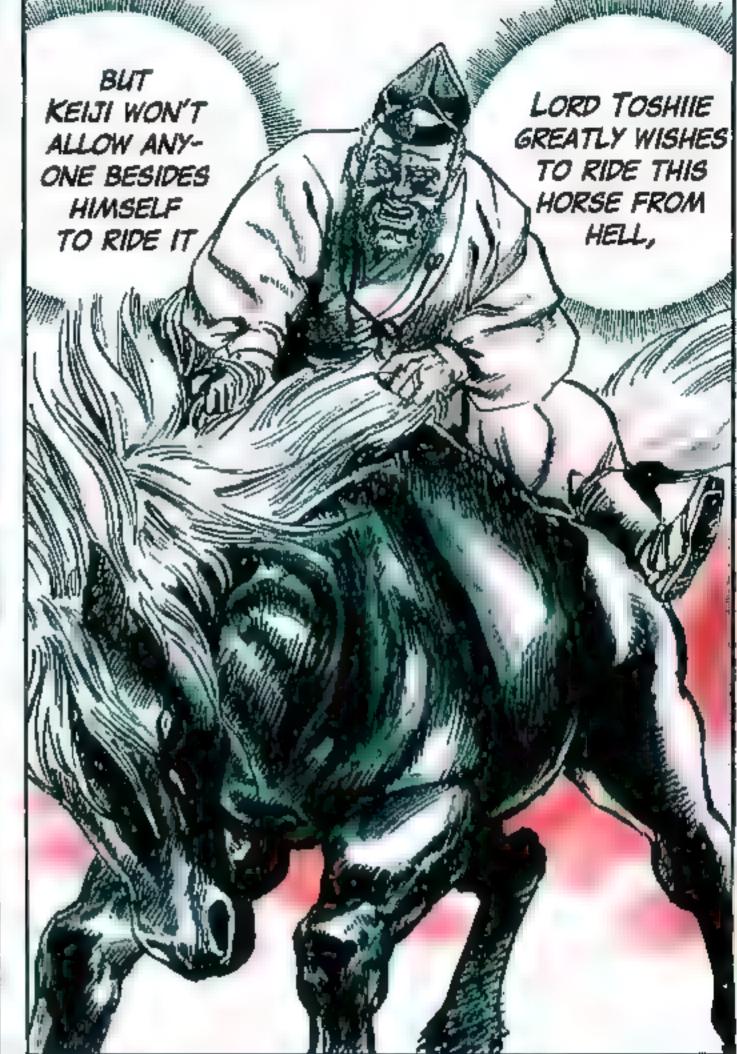


































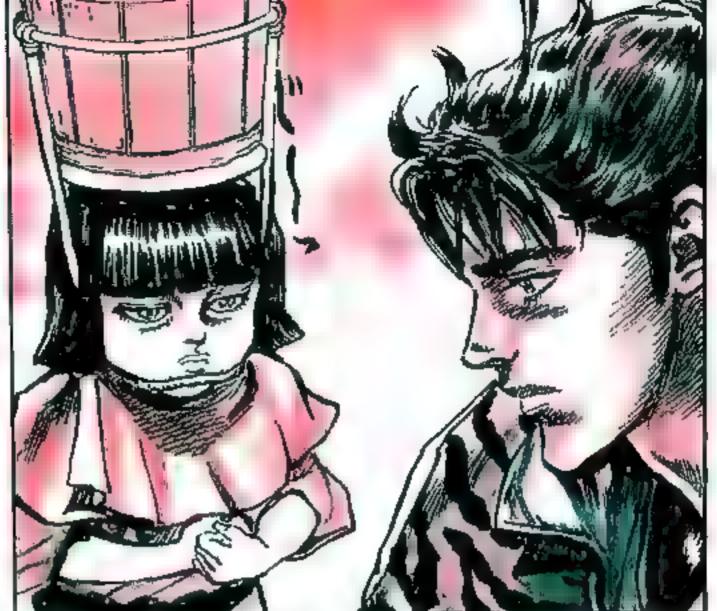








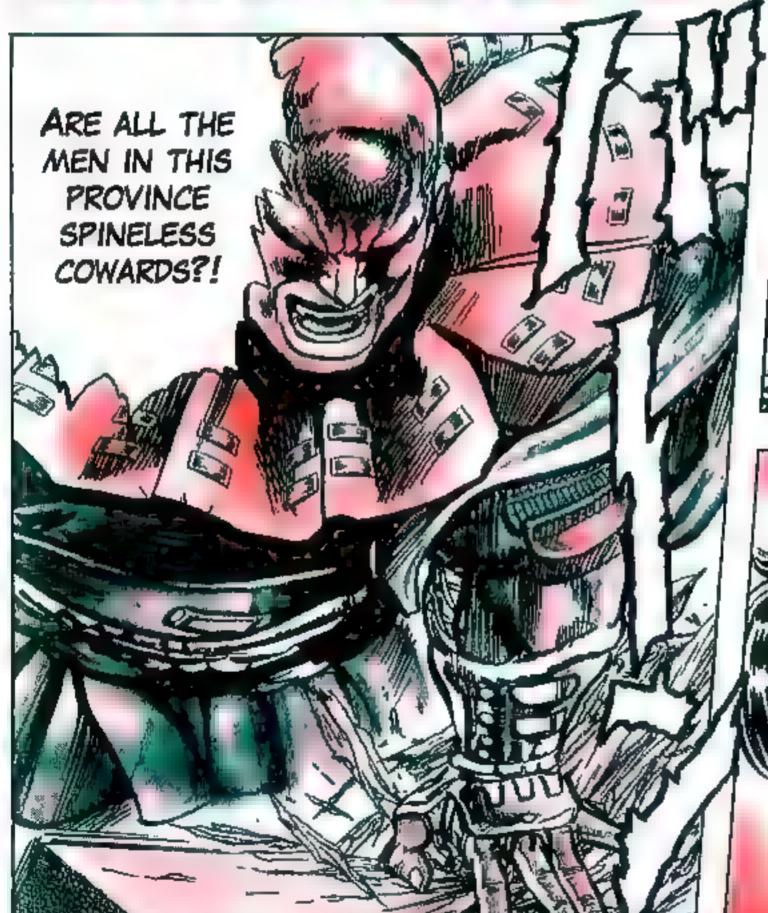














YOU

WON'T STOP ME THIS TIME















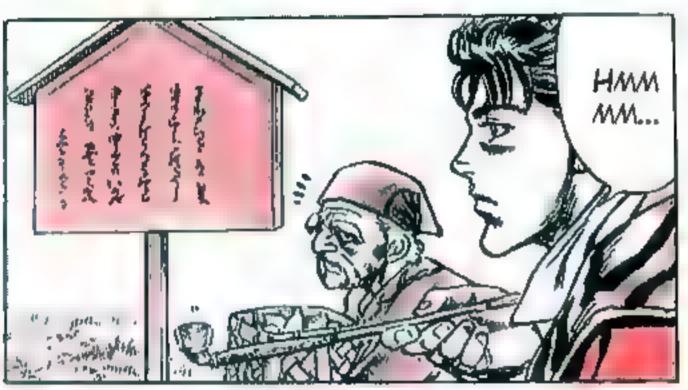


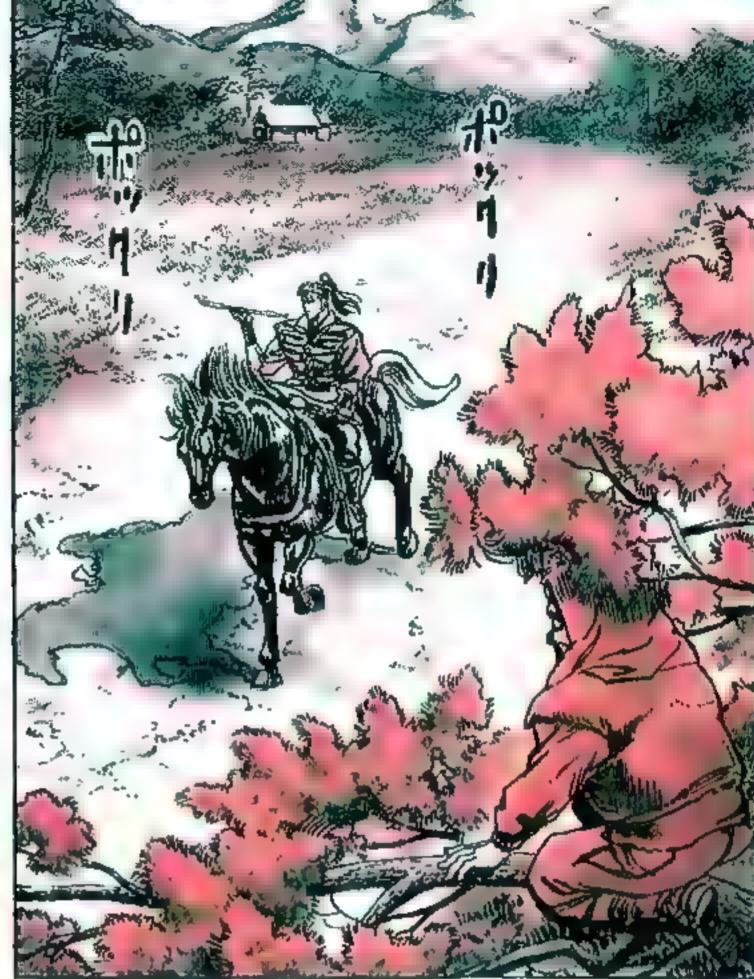












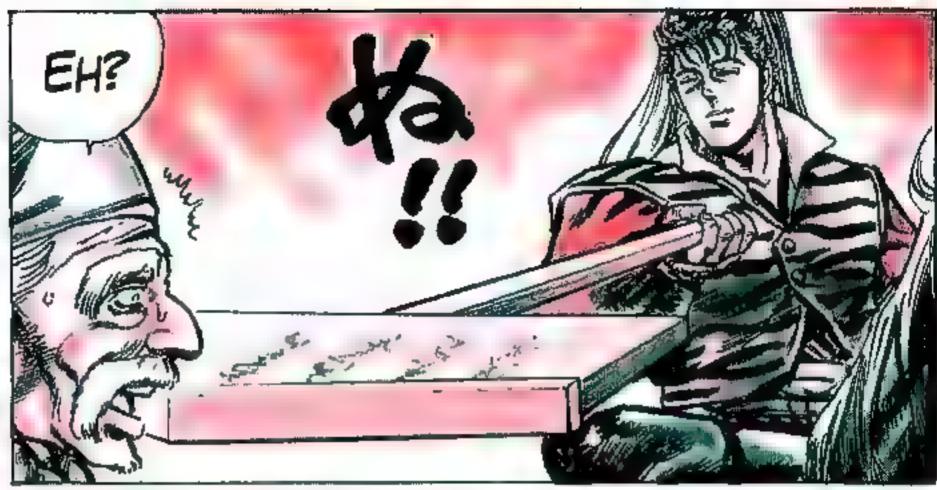






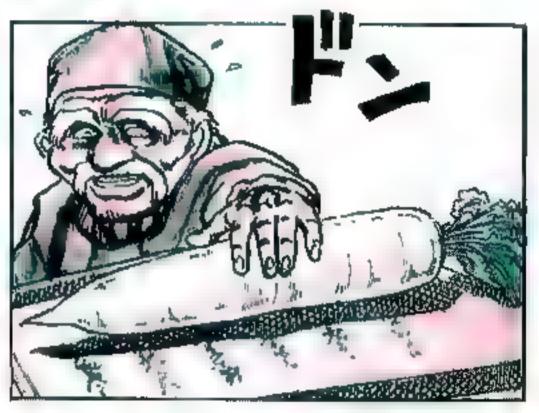














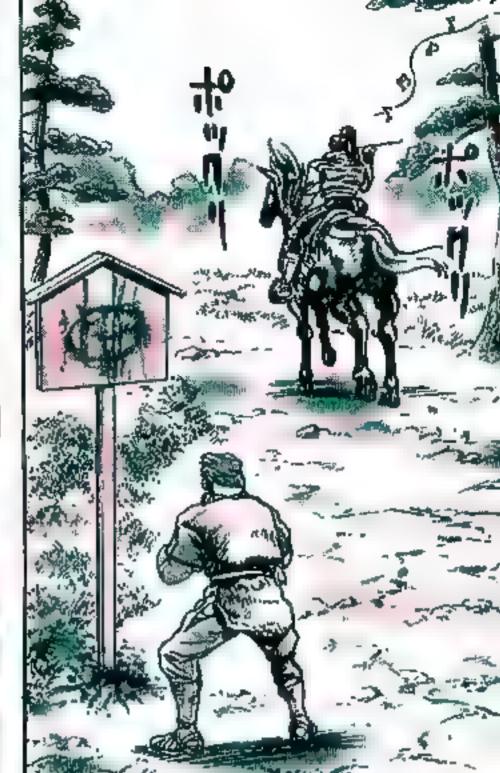






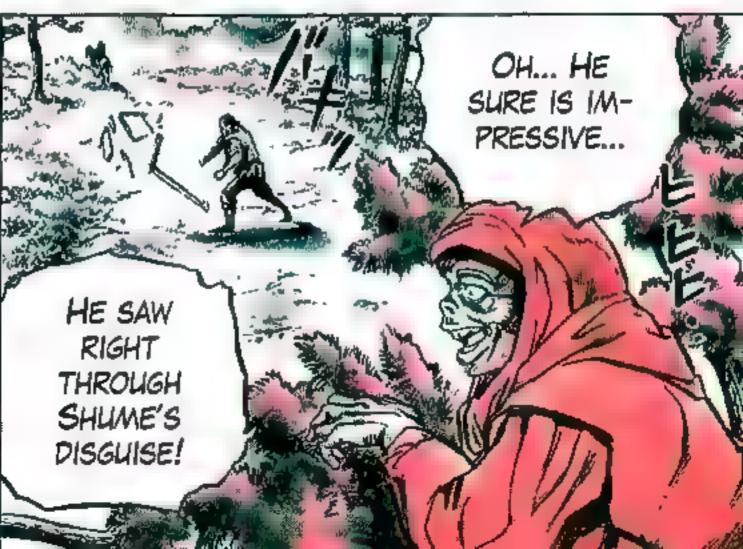


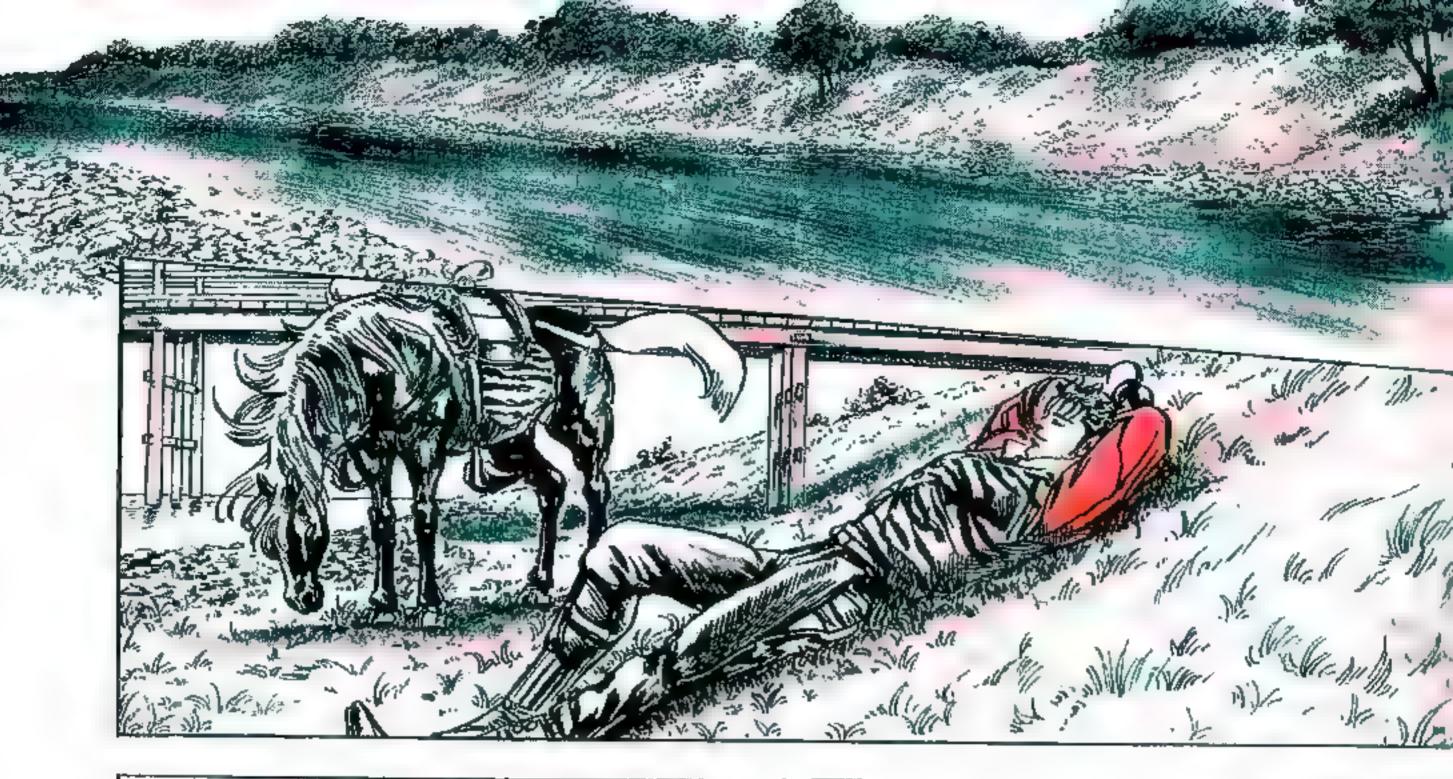


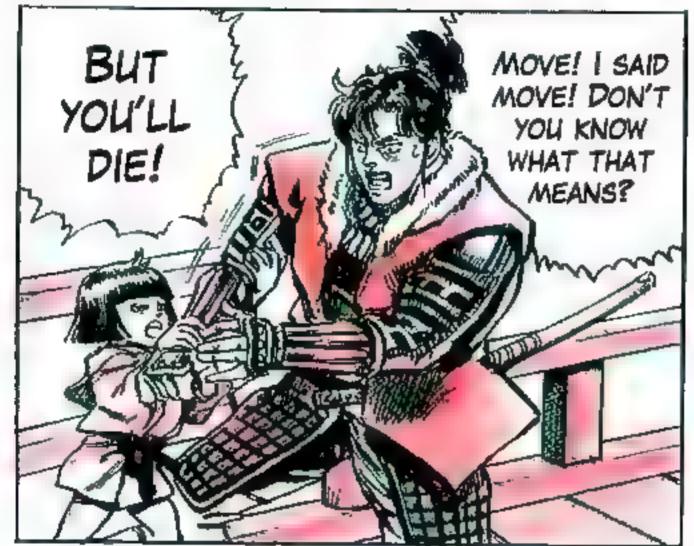




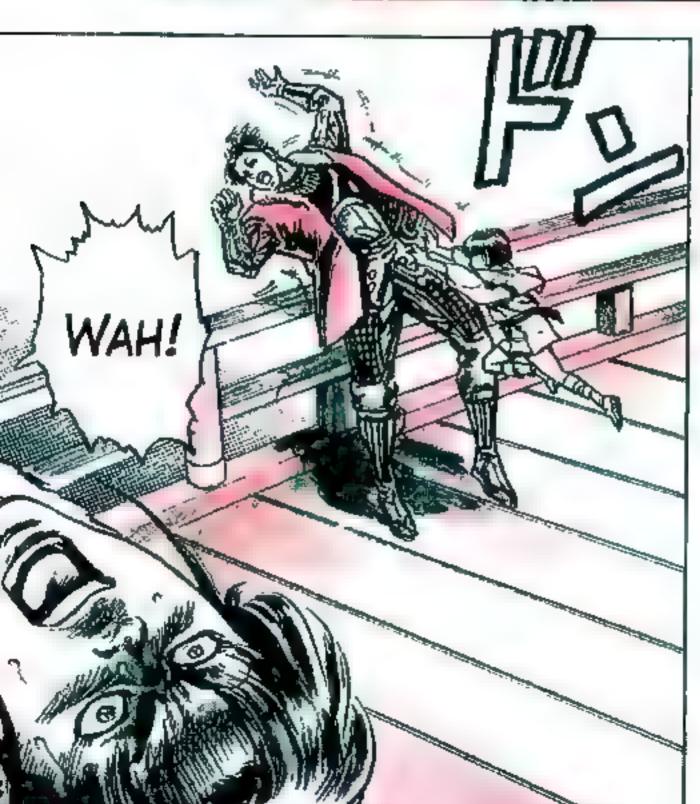






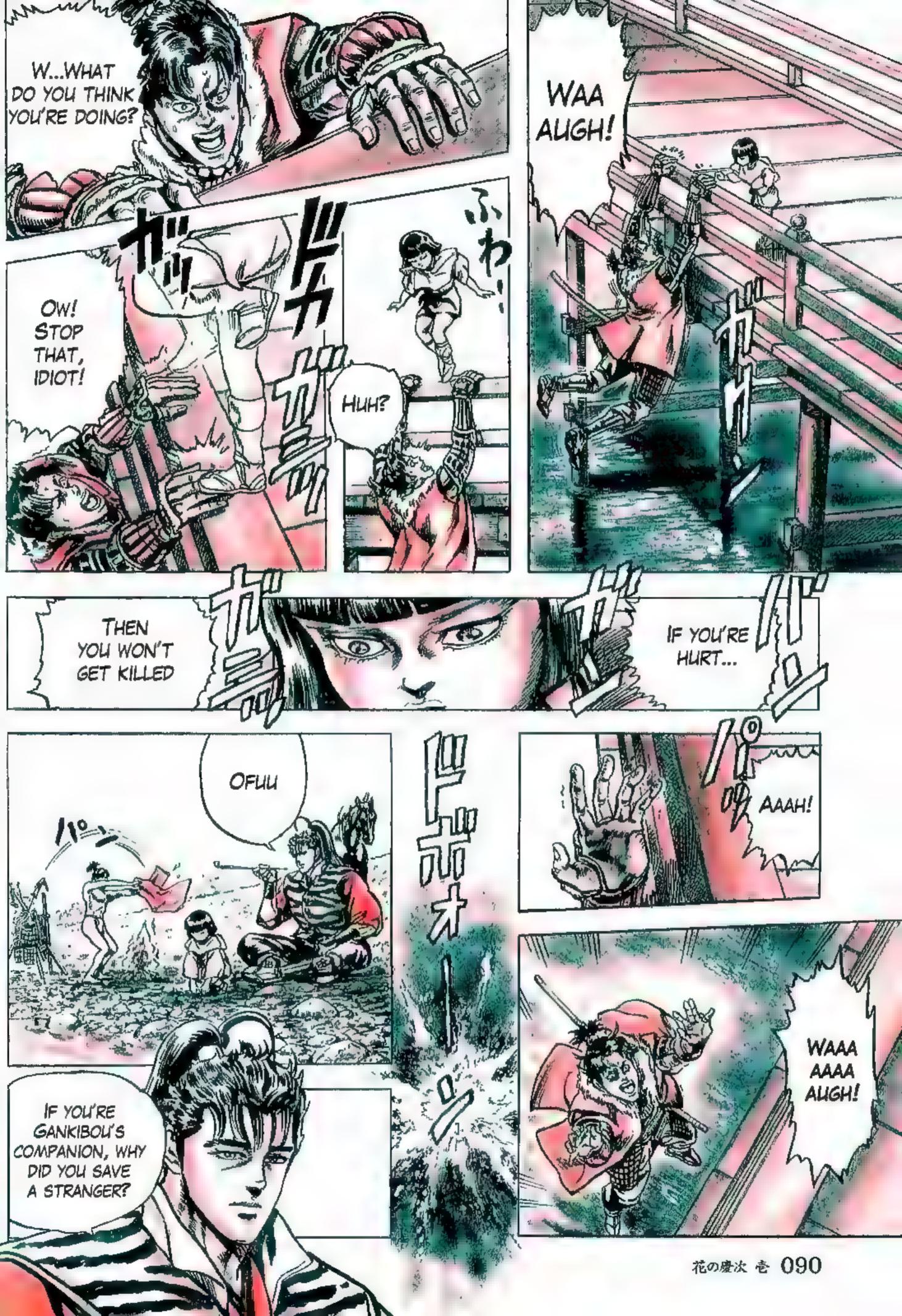




















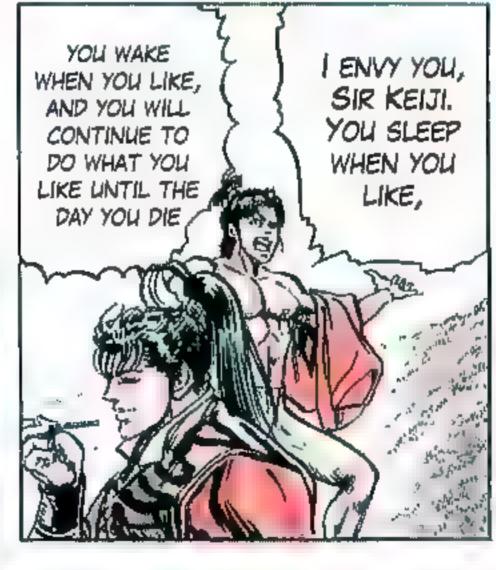






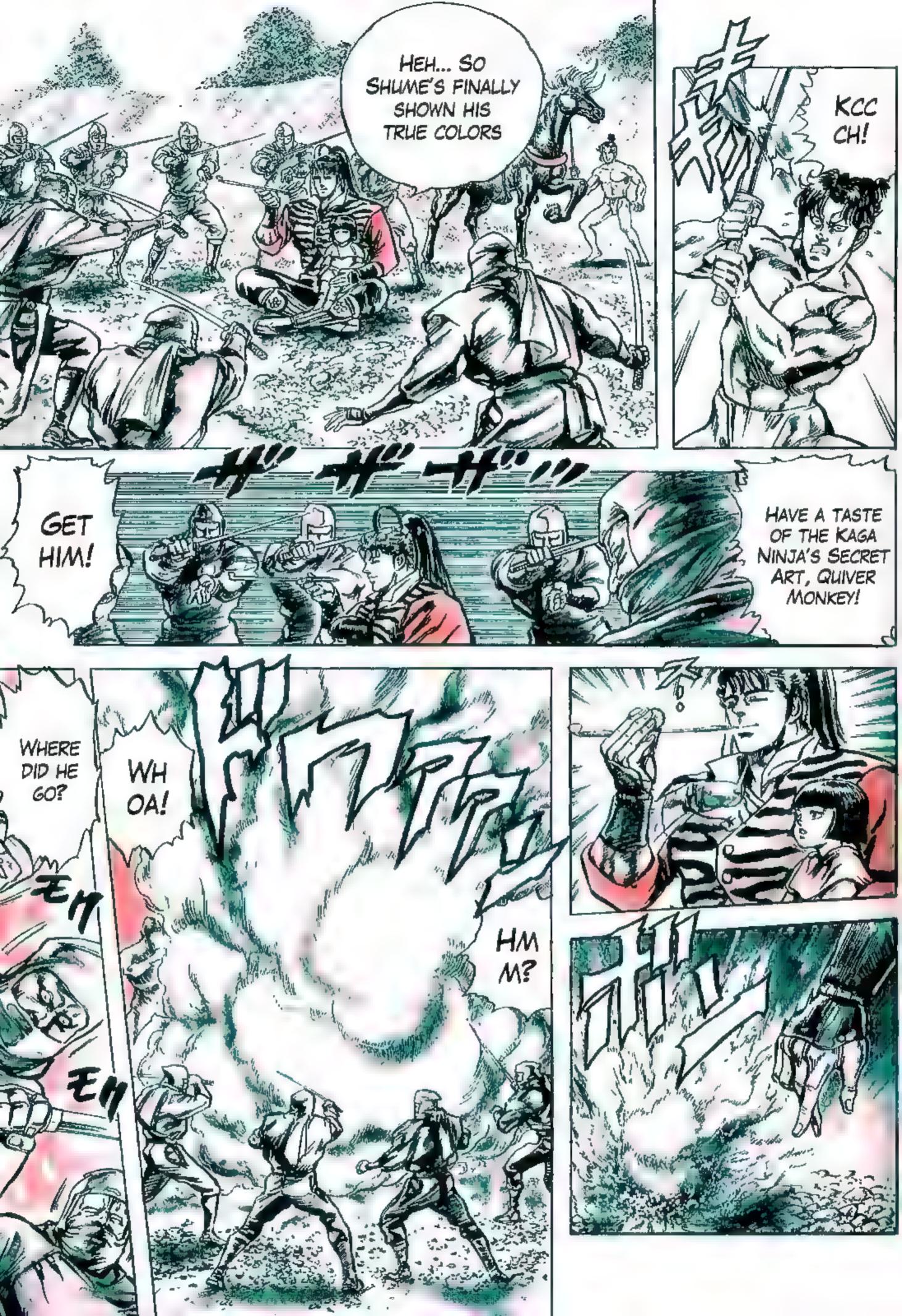






















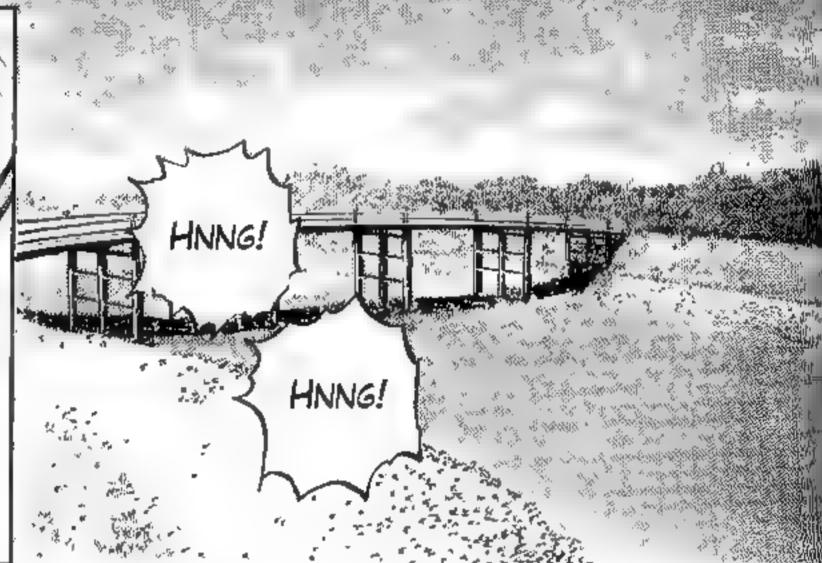




















097 花の慶次 壱











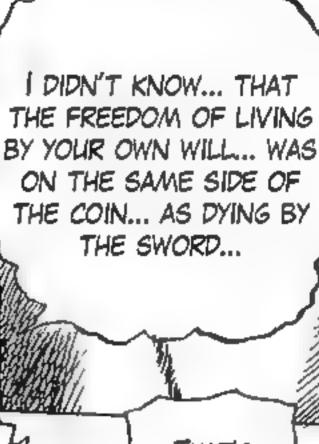










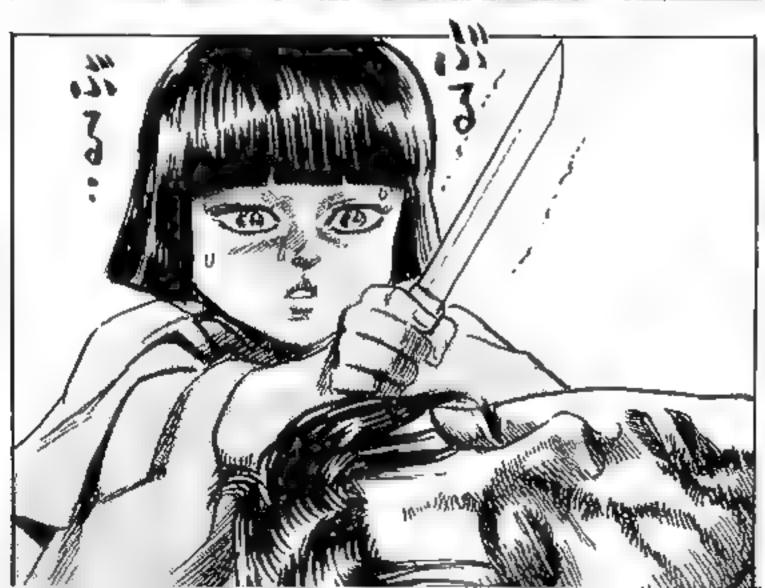


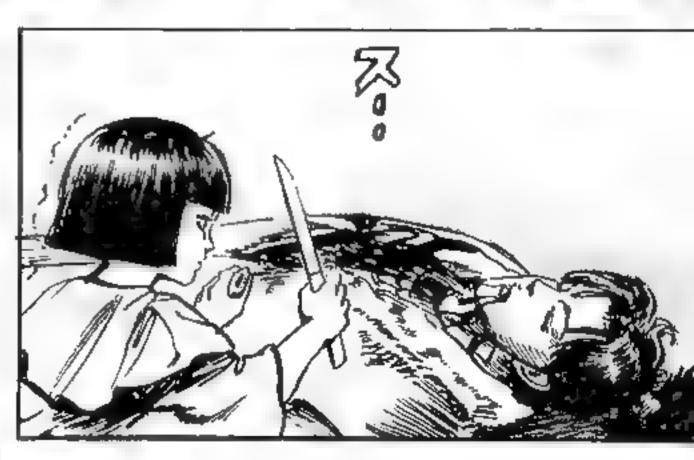






















































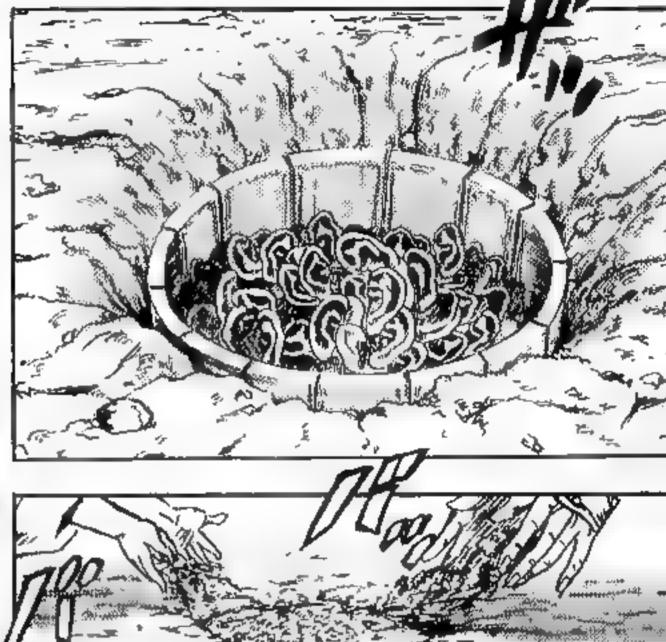
HEY, SHUME!



TCH



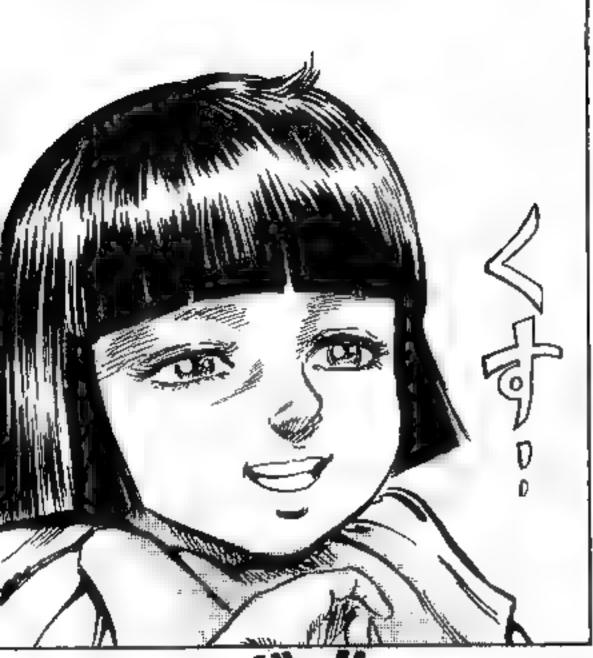
























HANA NO KEIJI

CHAPTER 02 BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/







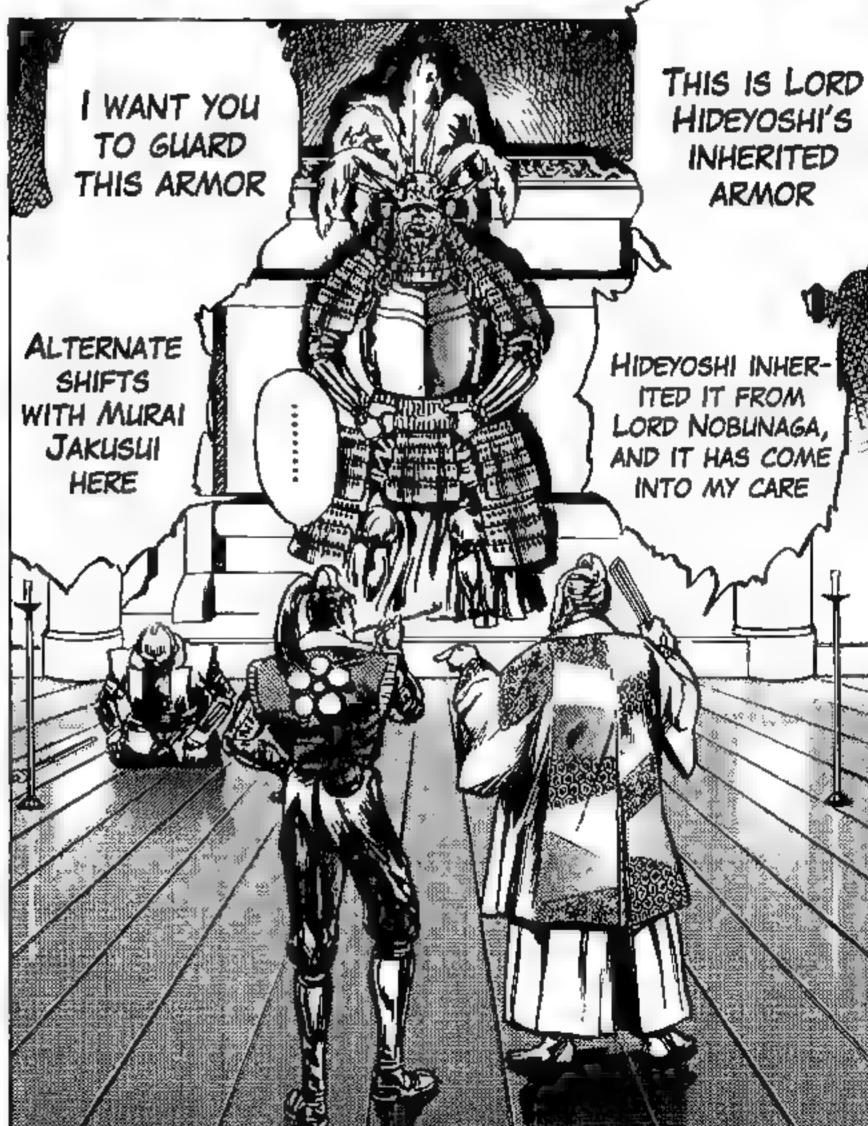












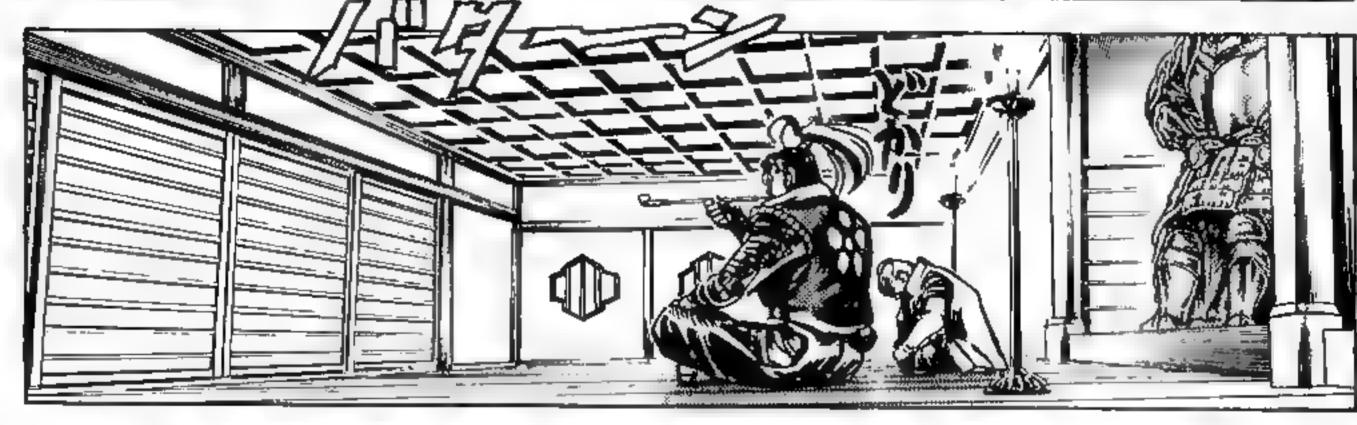
















*TANUKI = A RACOON DOG, KNOWN IN JAPANESE MYTHOLOGY FOR ITS CUNNING





















































KCH!















125 花の農次 老



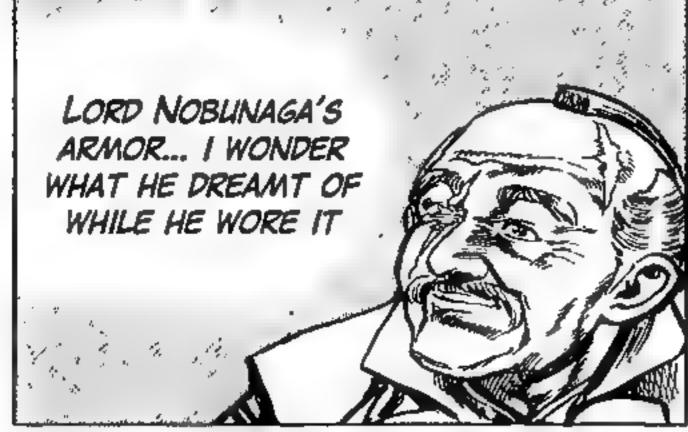








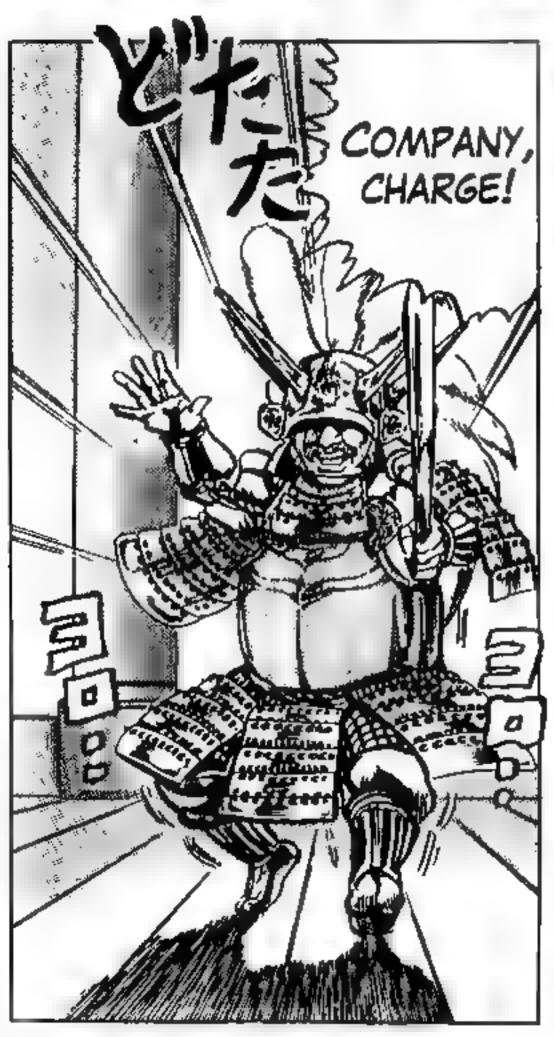




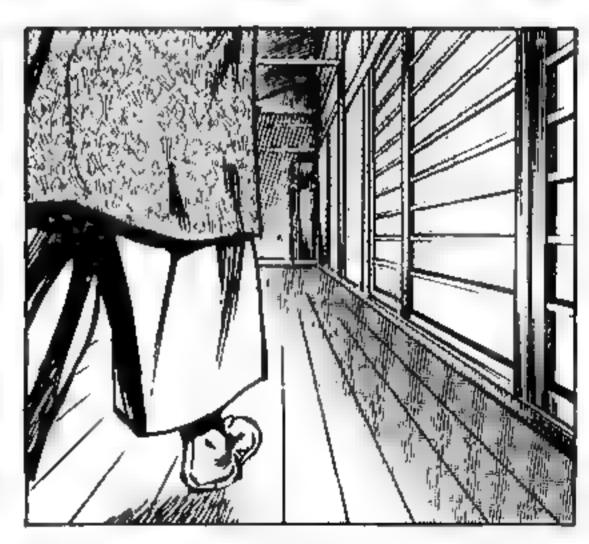










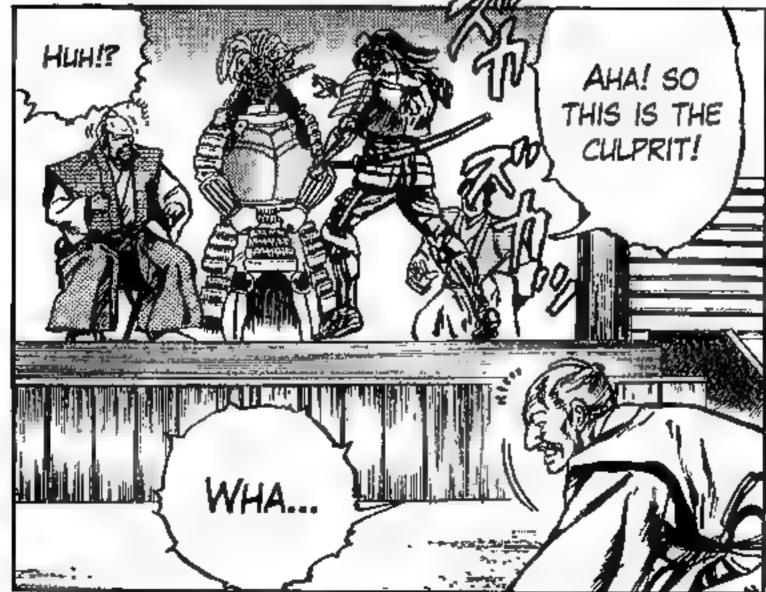
























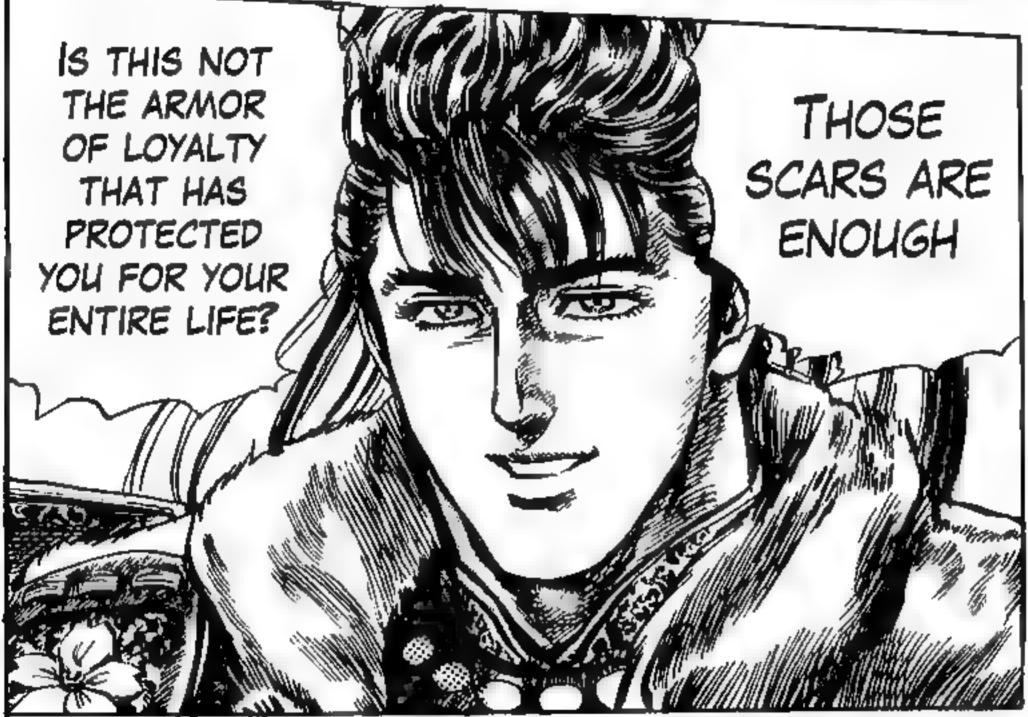








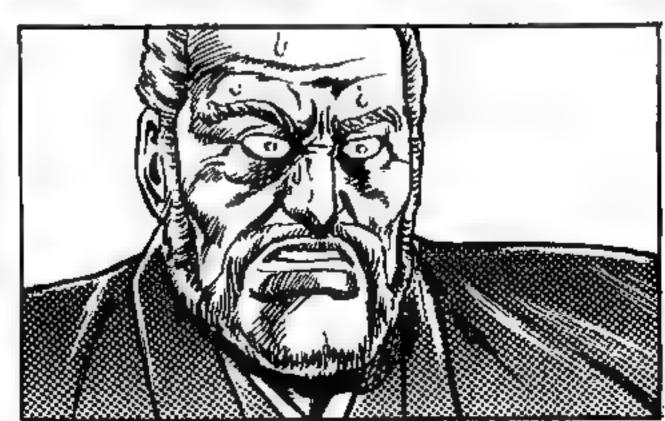






















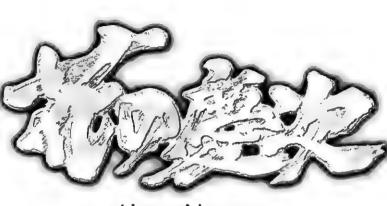












HANA NO KEIJI

CHAPTER 03 BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

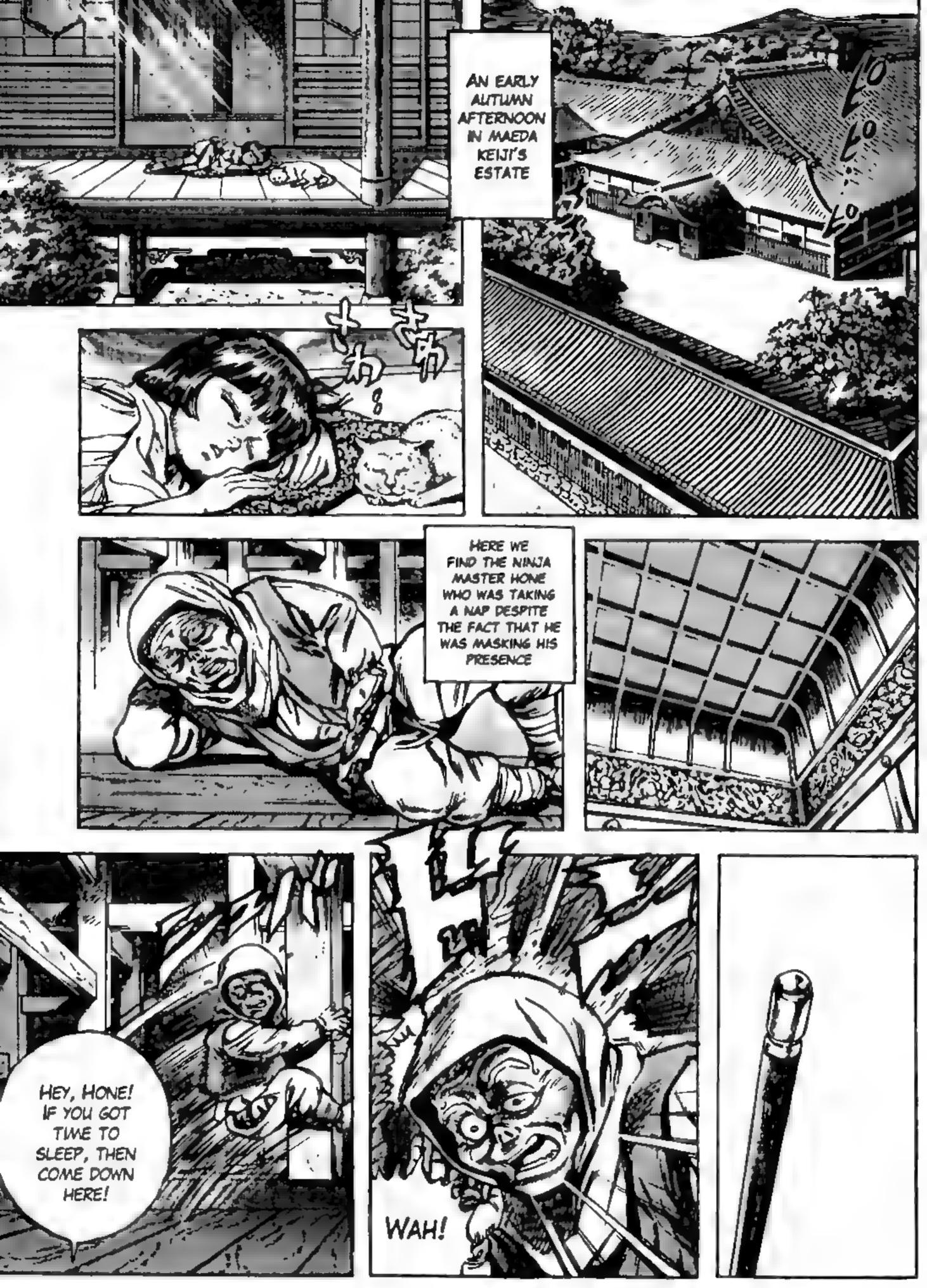
PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/







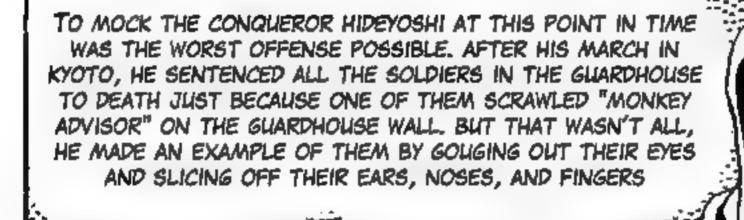
139 花の産決 老









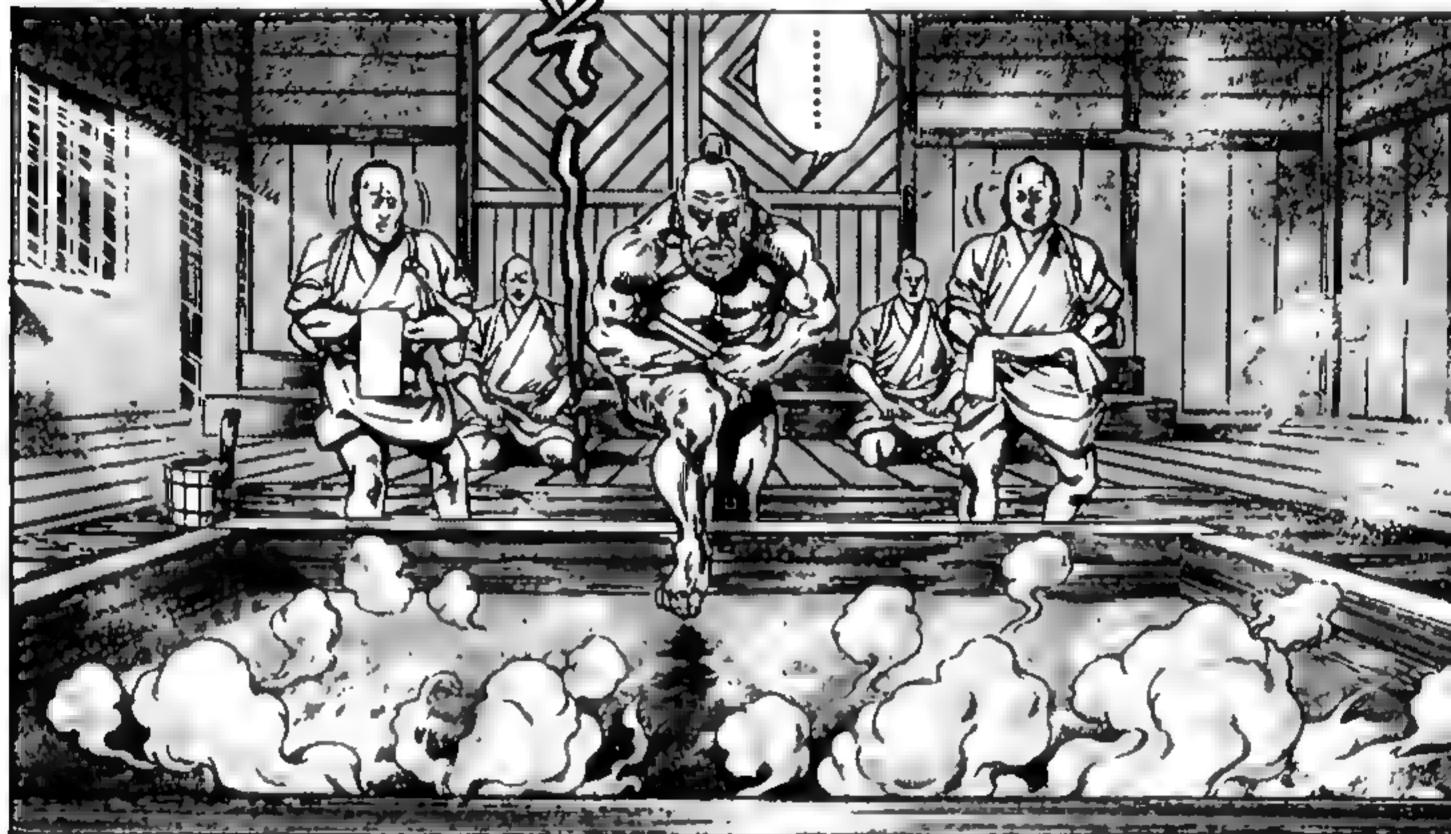






WHA...









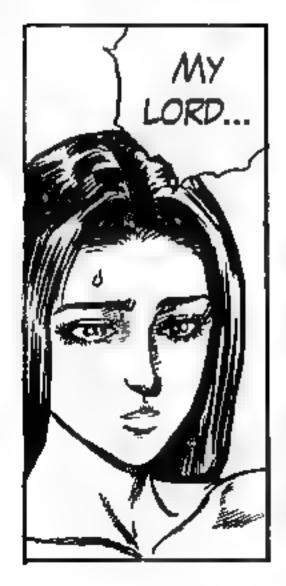






















147 花の慶次 壱

















花の農火 巻 148







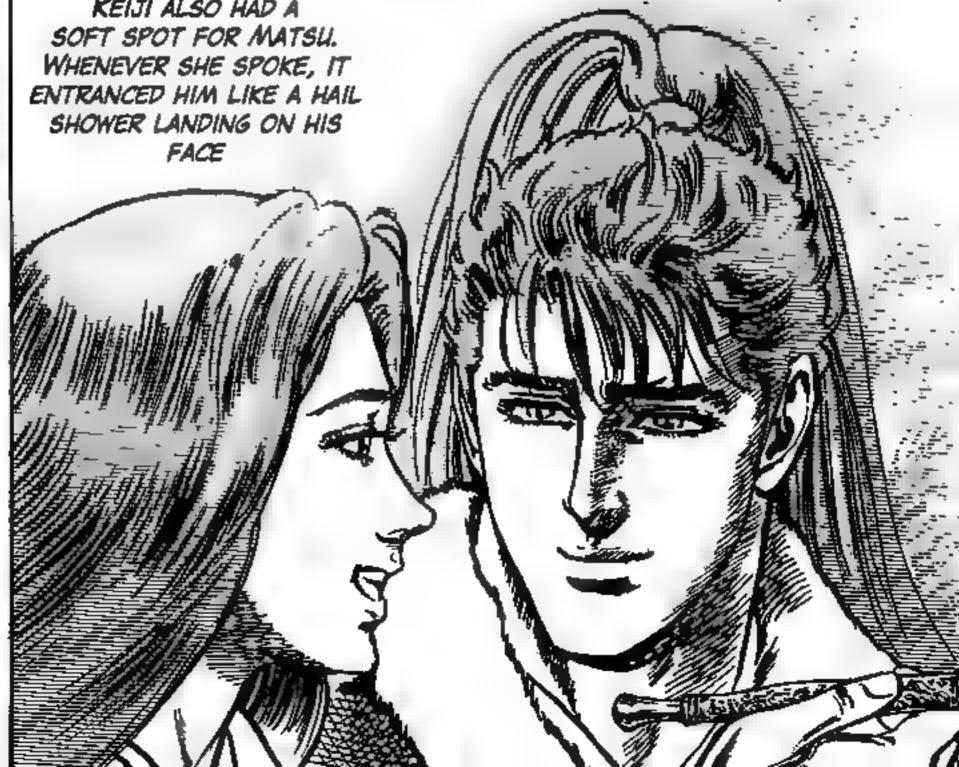








































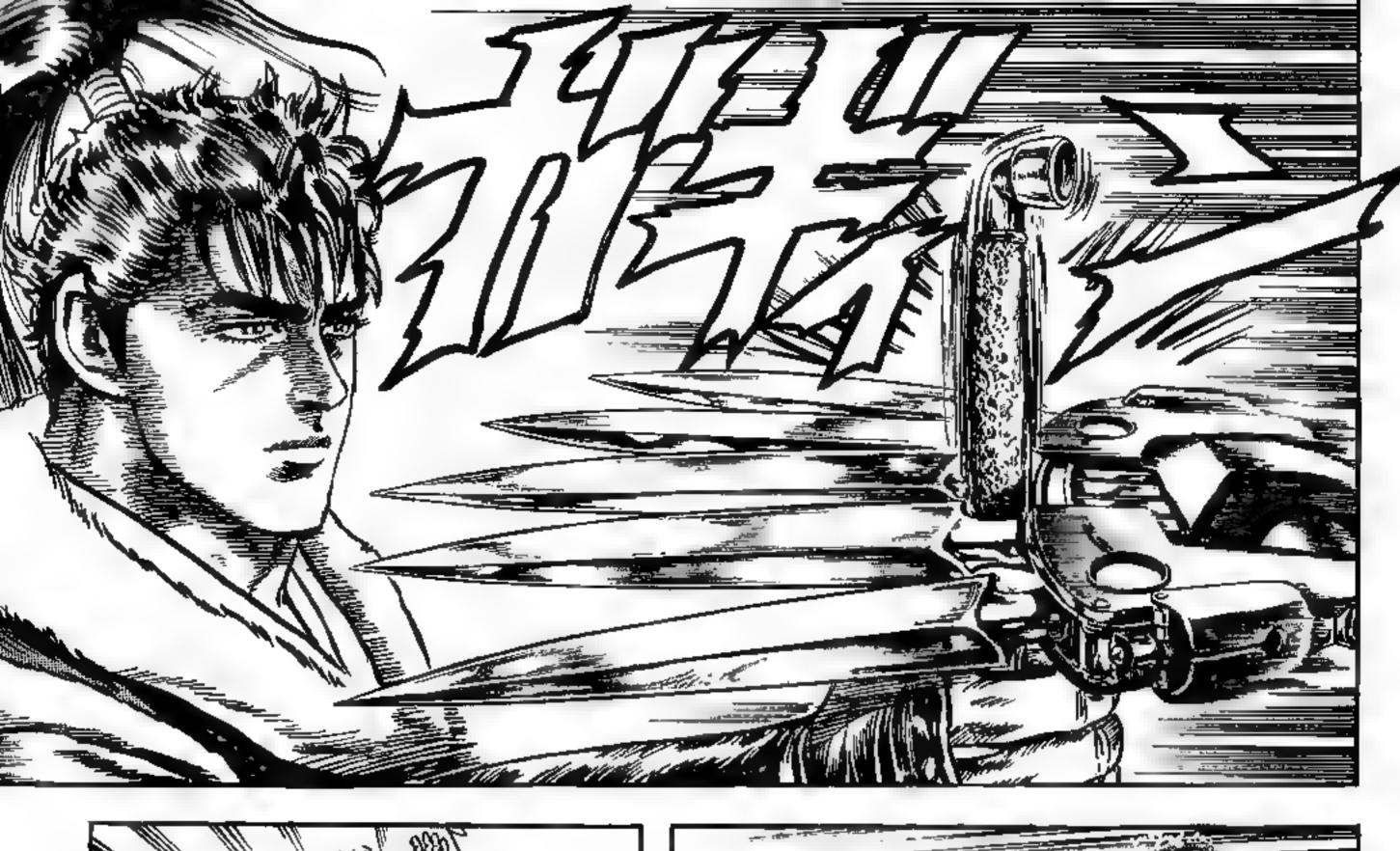




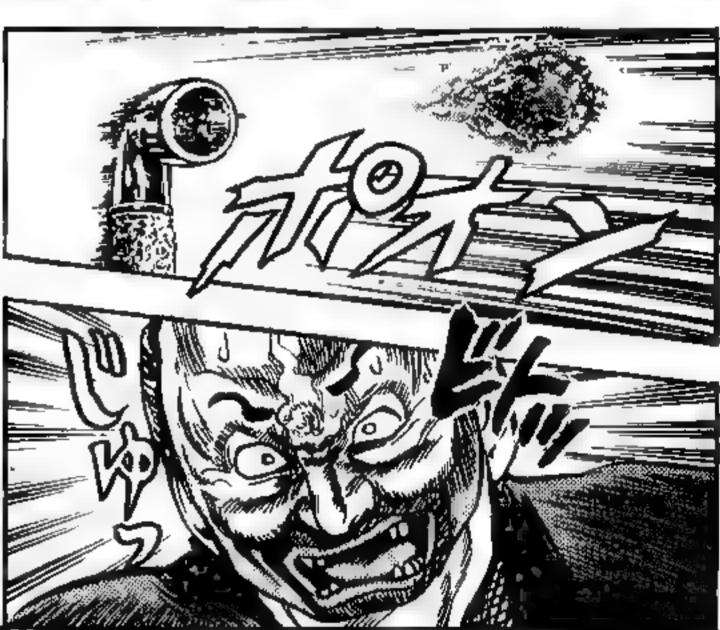








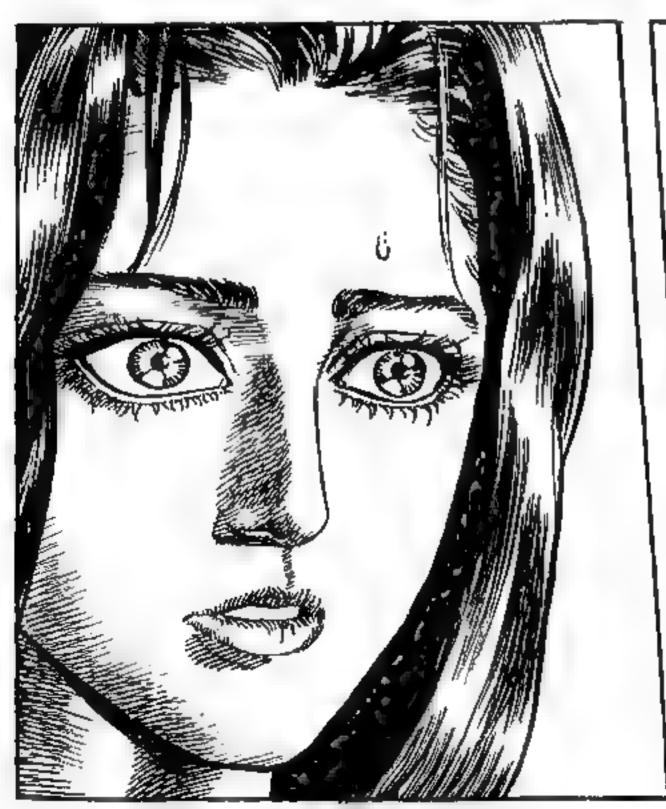




















HANA NO KEIJI

CHAPTER OH BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

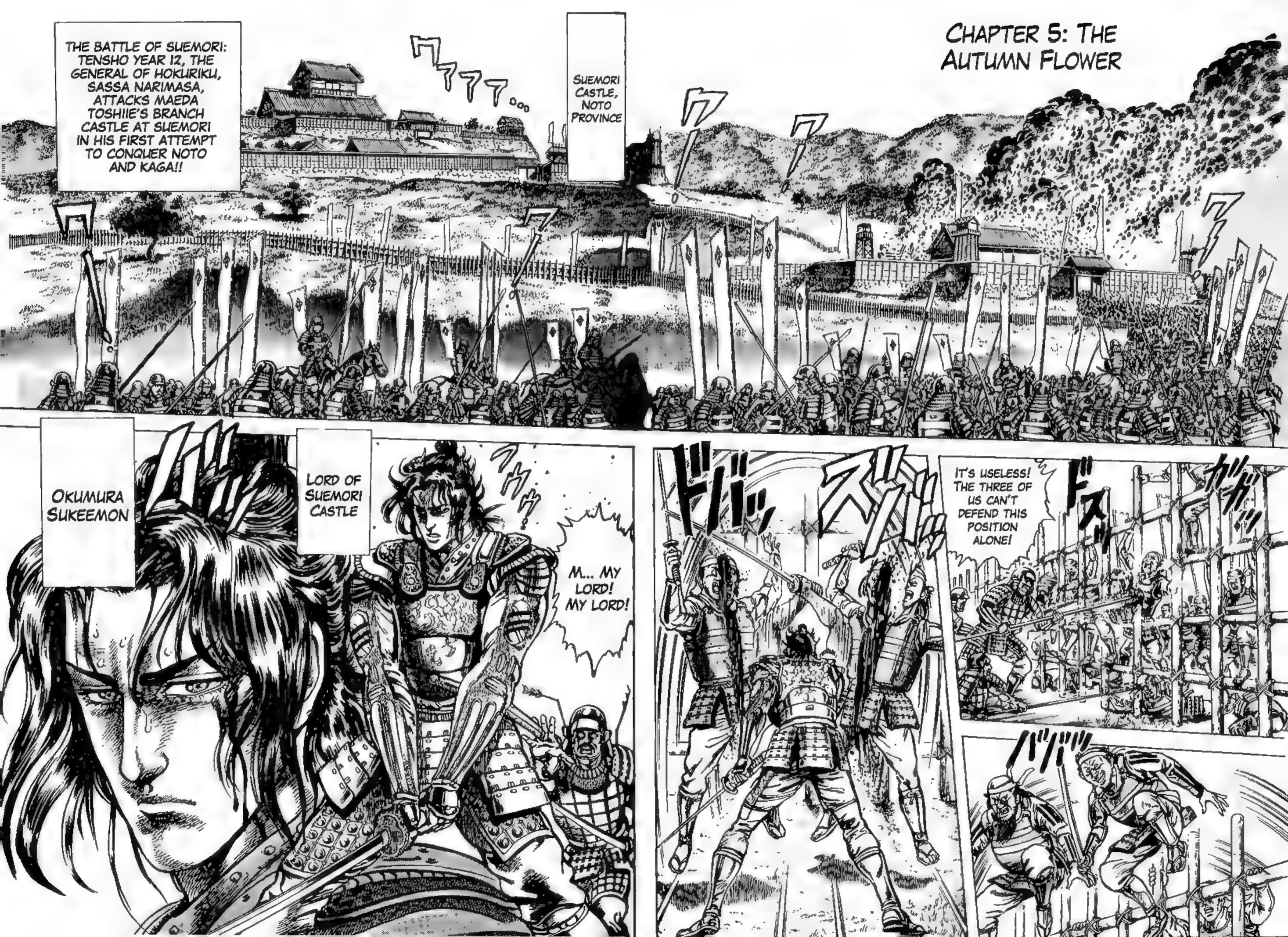
TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/





























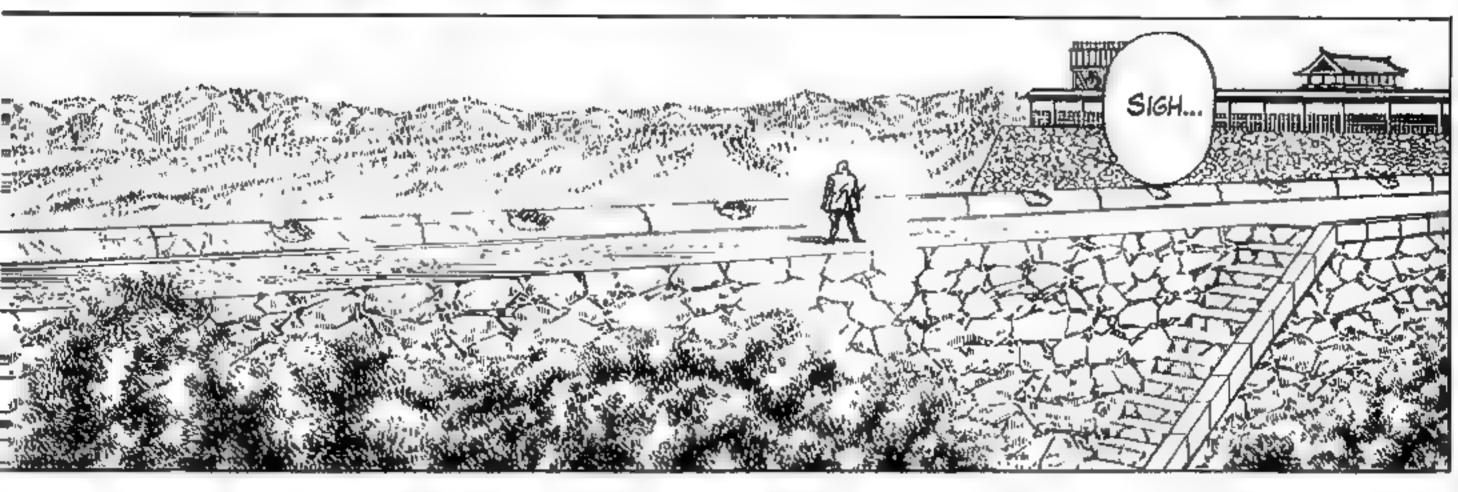


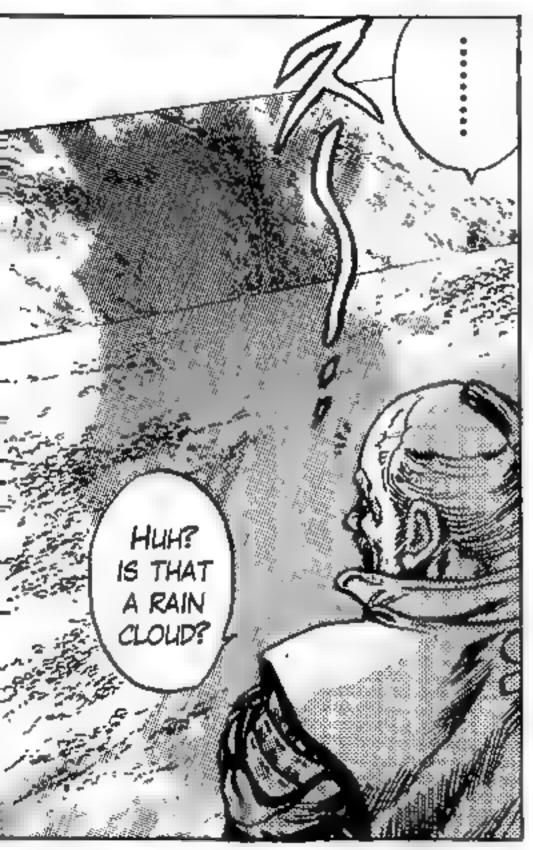














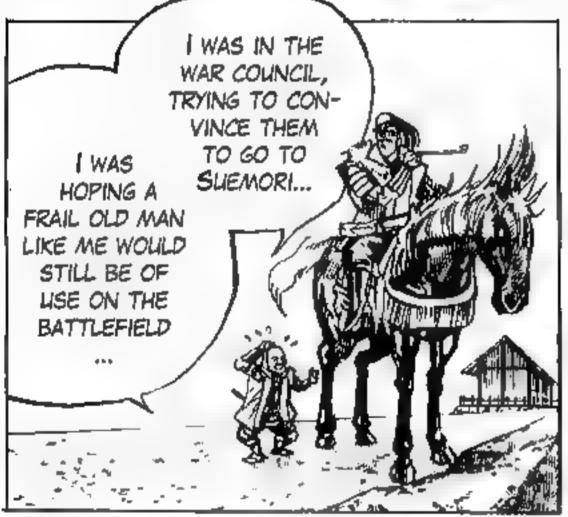




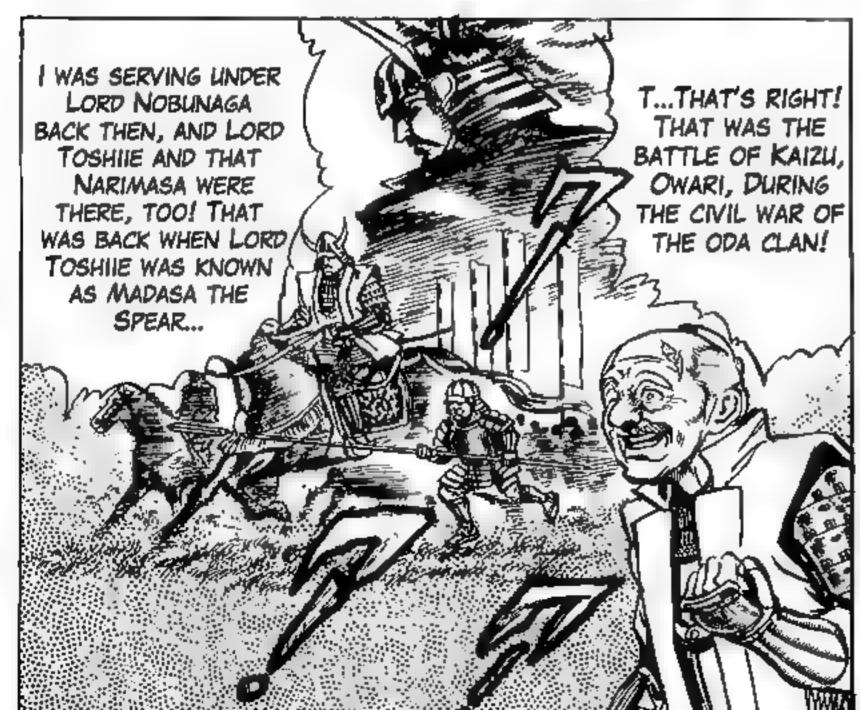
165 花の慶次 壱









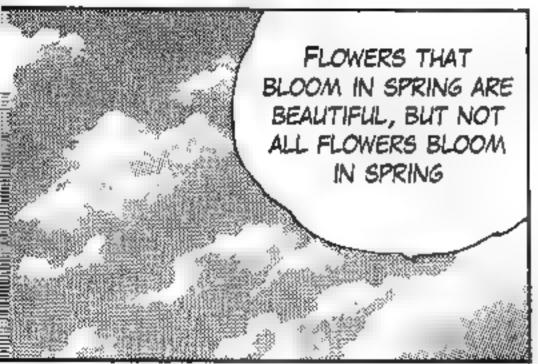


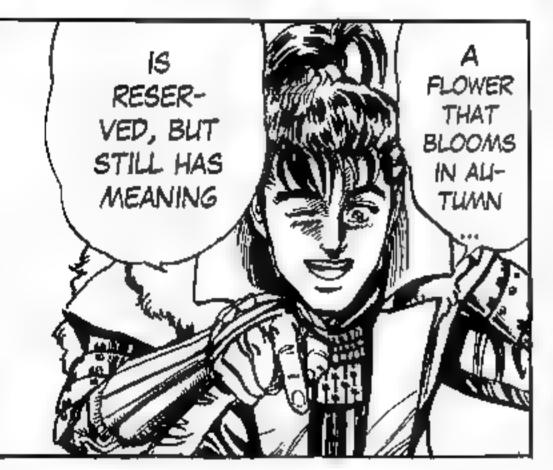










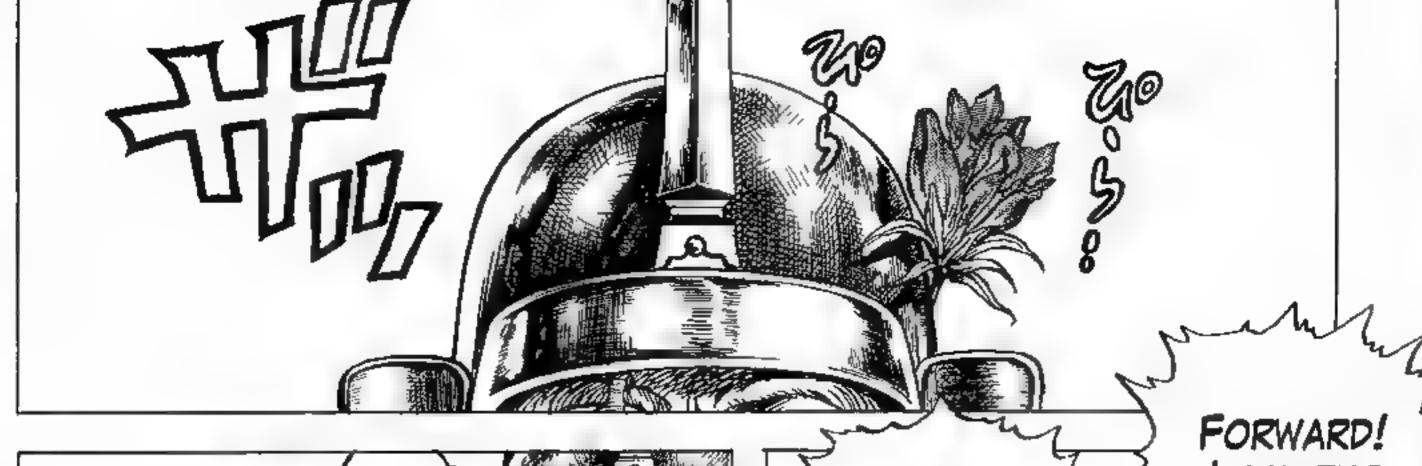
























































花の废次 壱 170







































花の废次 壱 176







HANA NO KEIJI

CHAPTER 05 BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

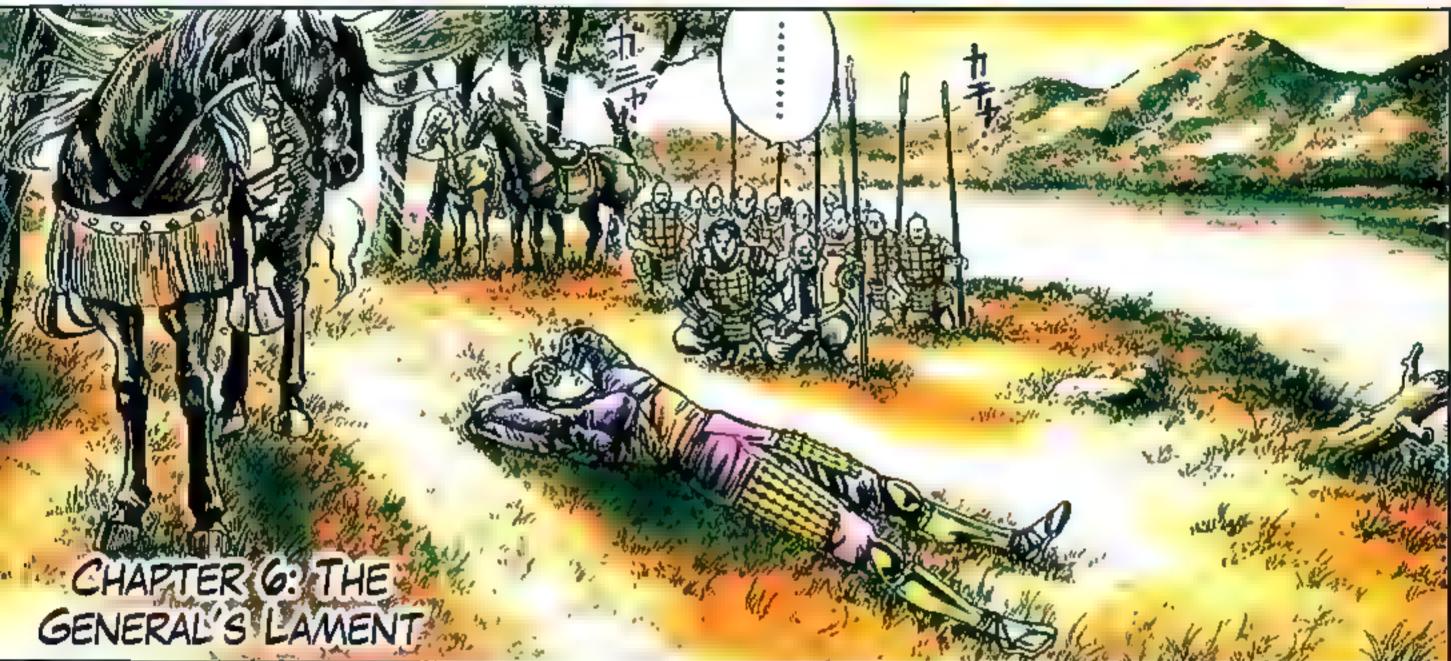
TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/

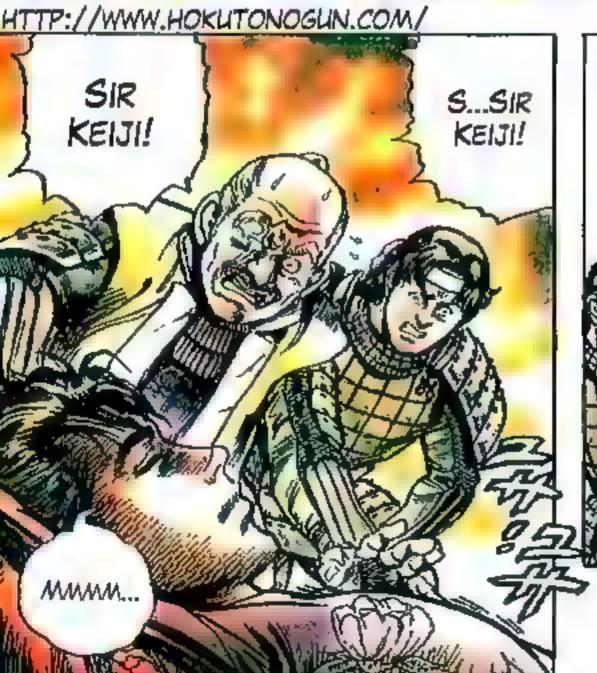














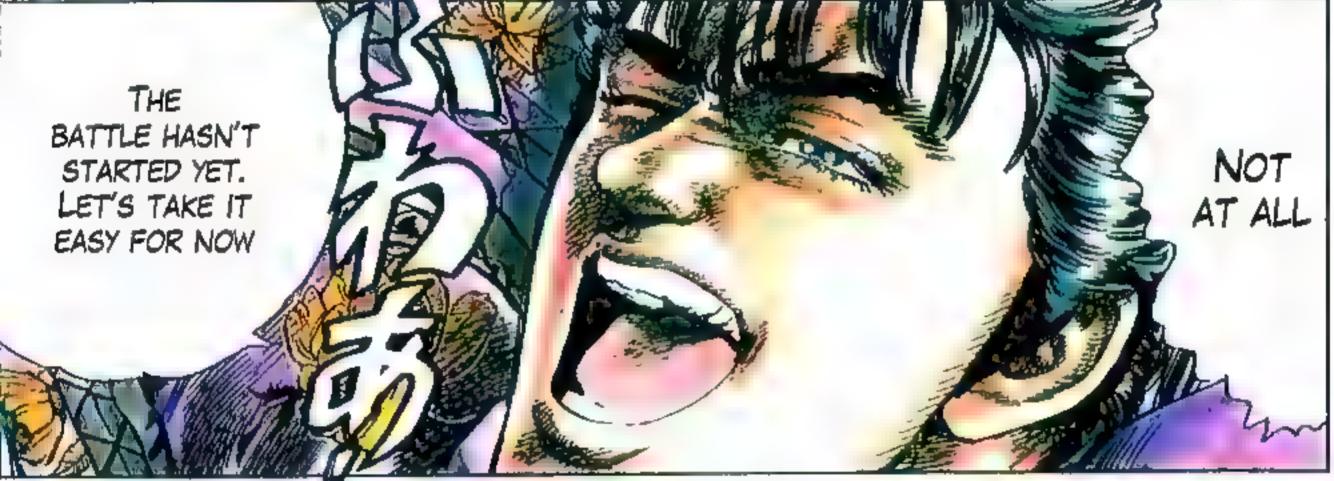






















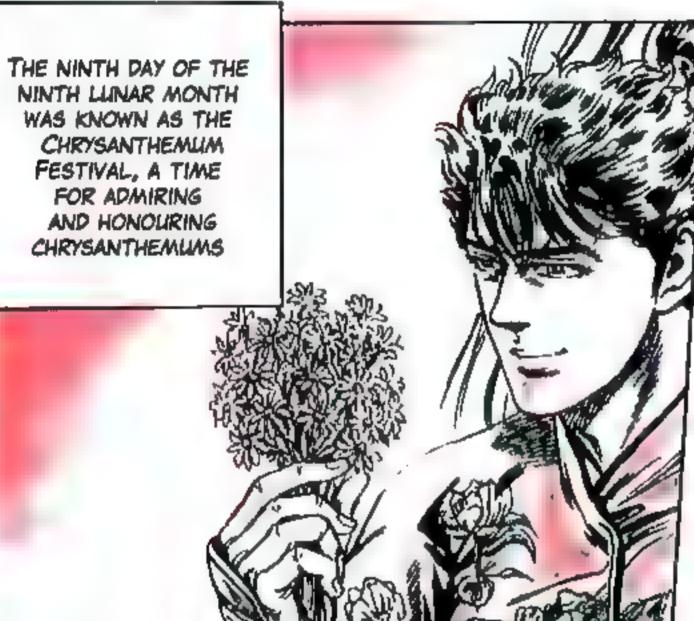








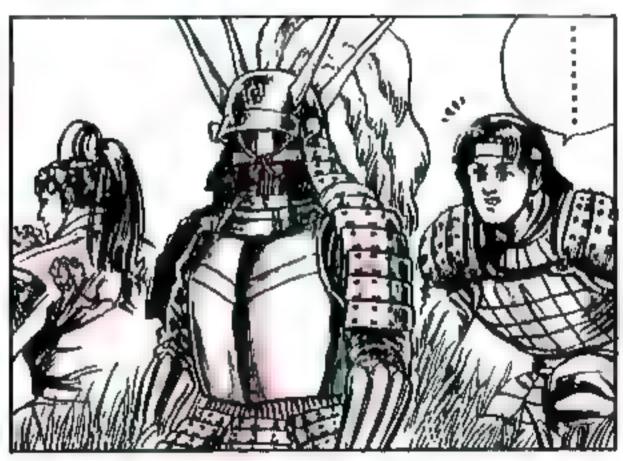












































































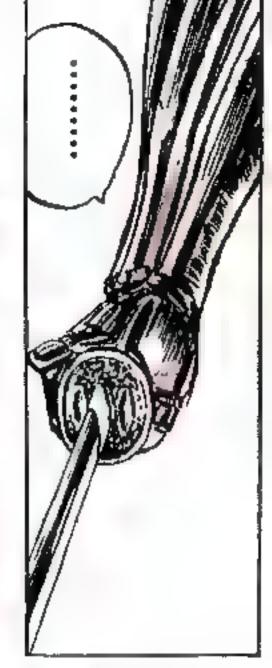








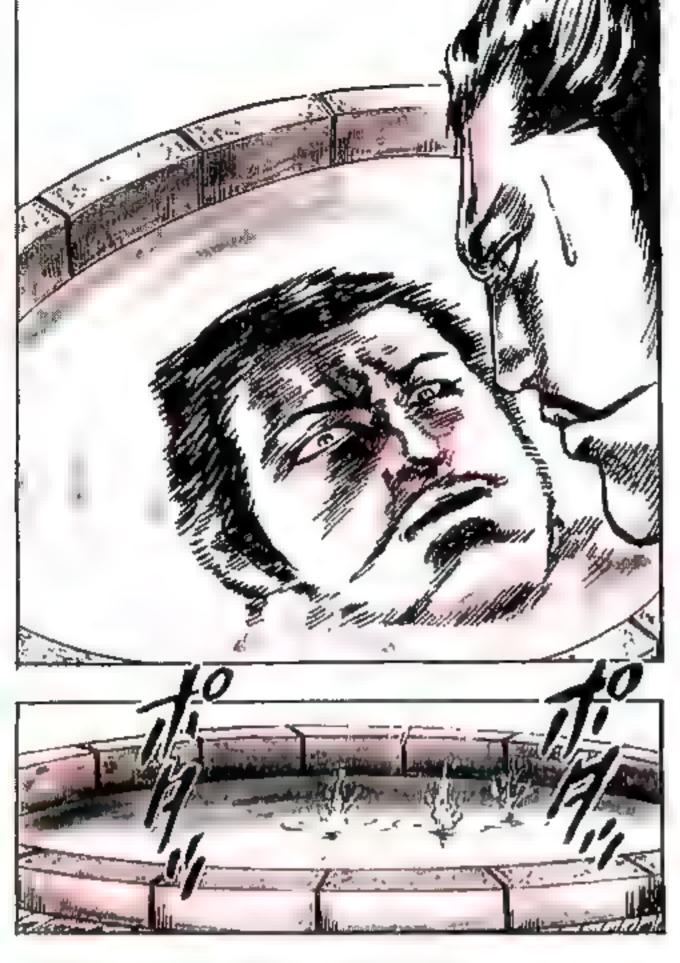


















花の康次 壱 200

























HANA NO KEIJI

CHAPTER OG BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/



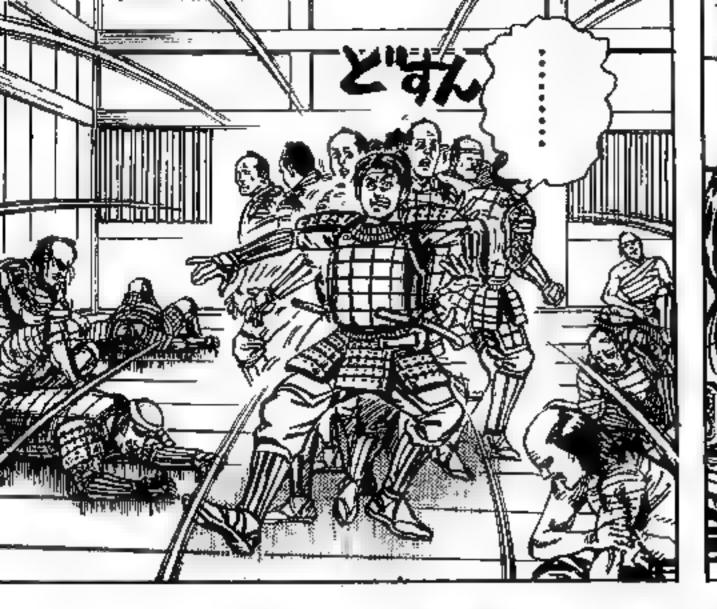


























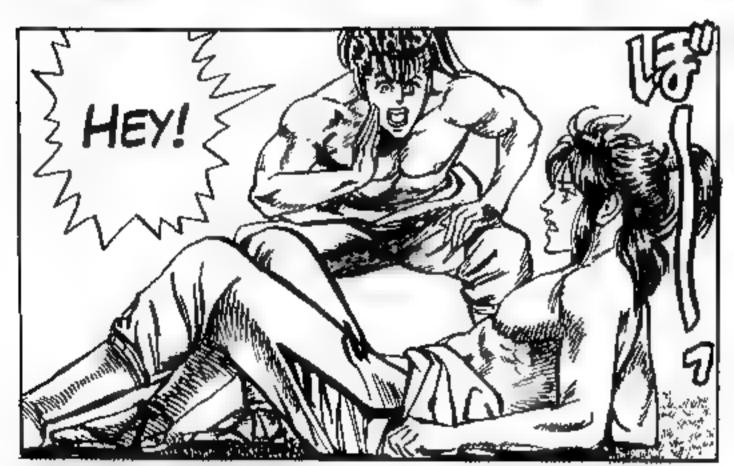




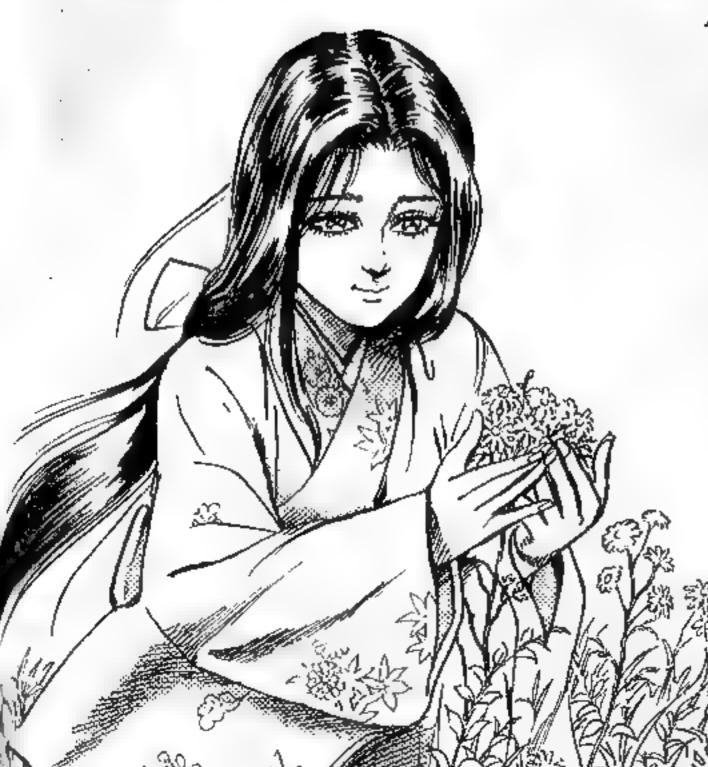
















花の慶次 壱 210





















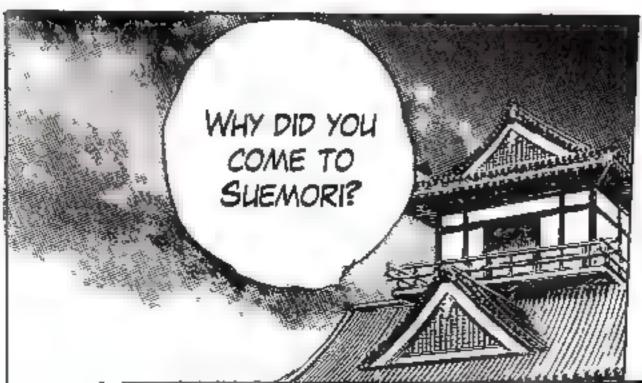


















HEH ... AS

IF! ISN'T

THIS FOR

HER?

































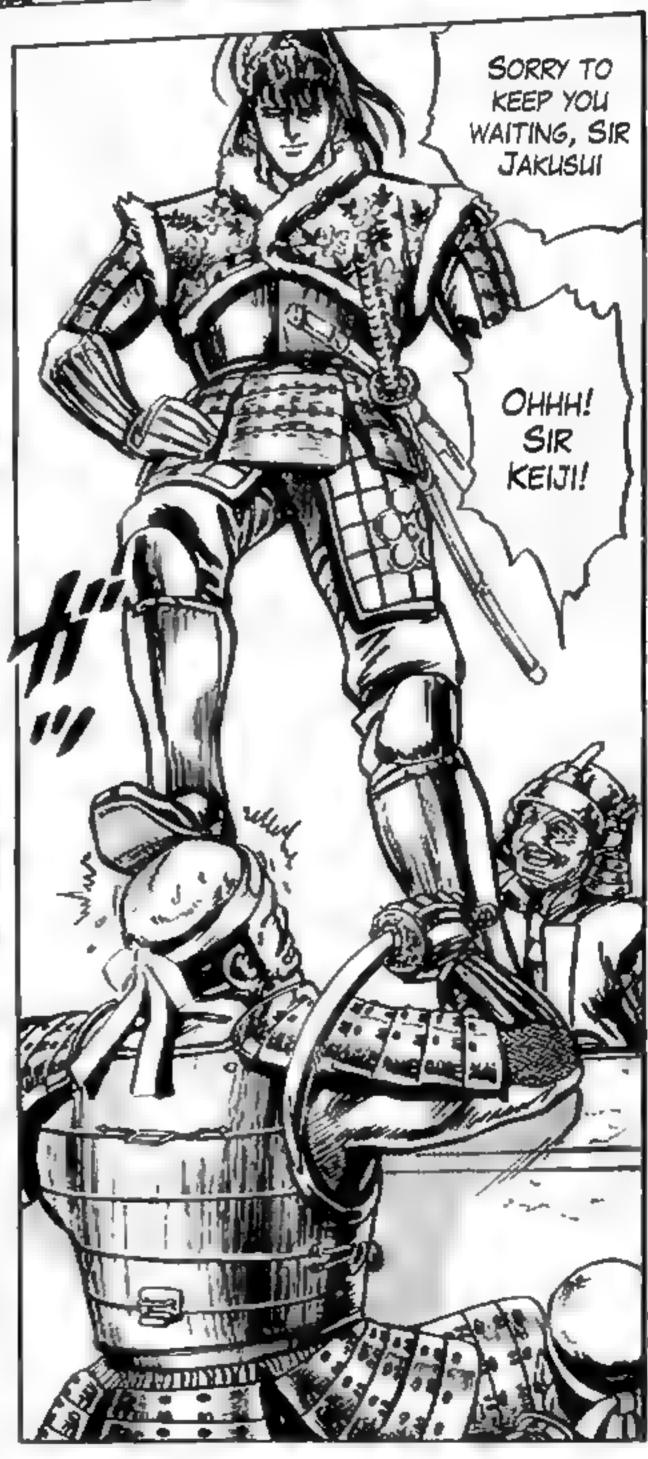




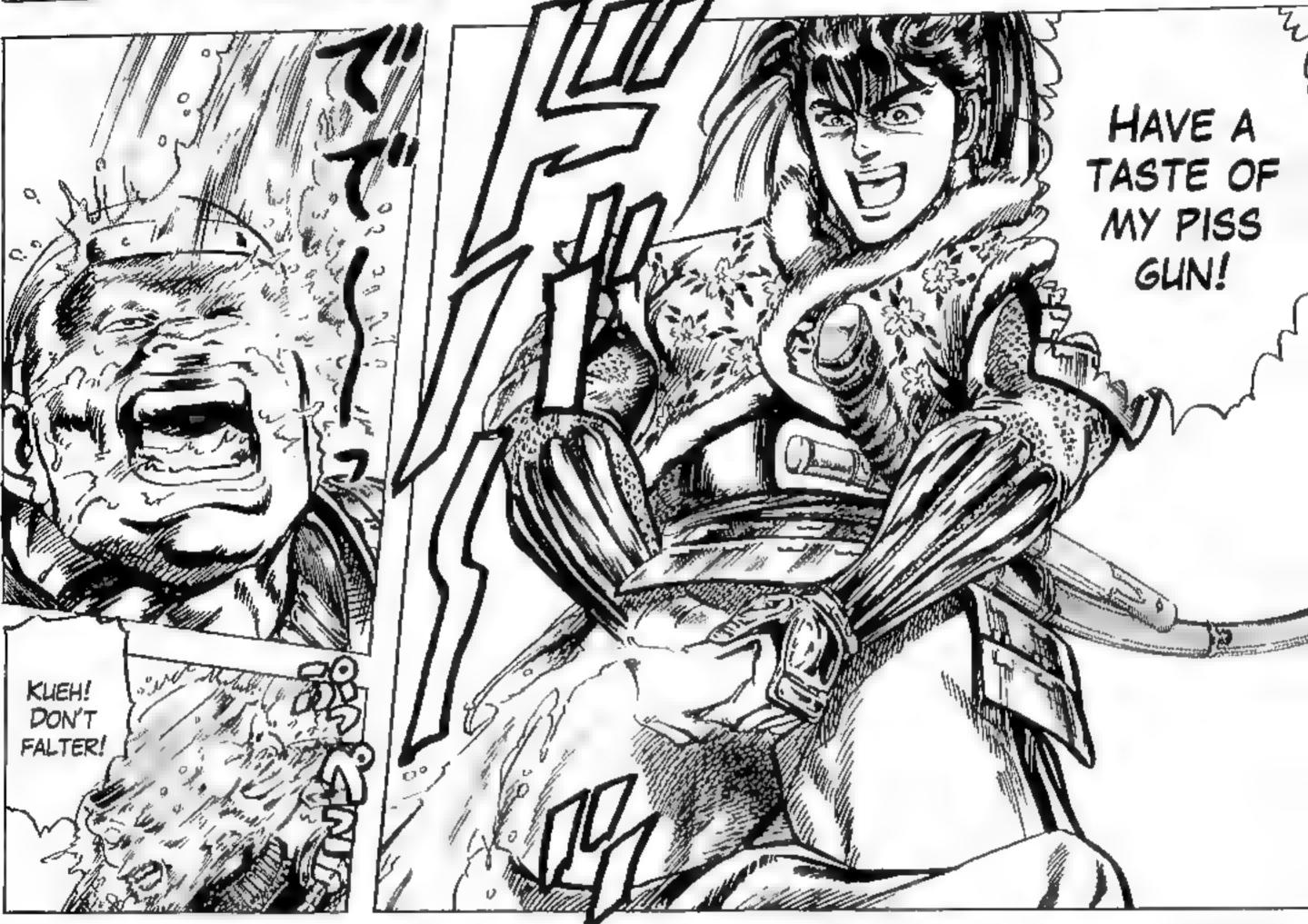


















花の慶次 巻 220

















花の康次 巻 222





















HANA NO KEIJI

CHAPTER 07 BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

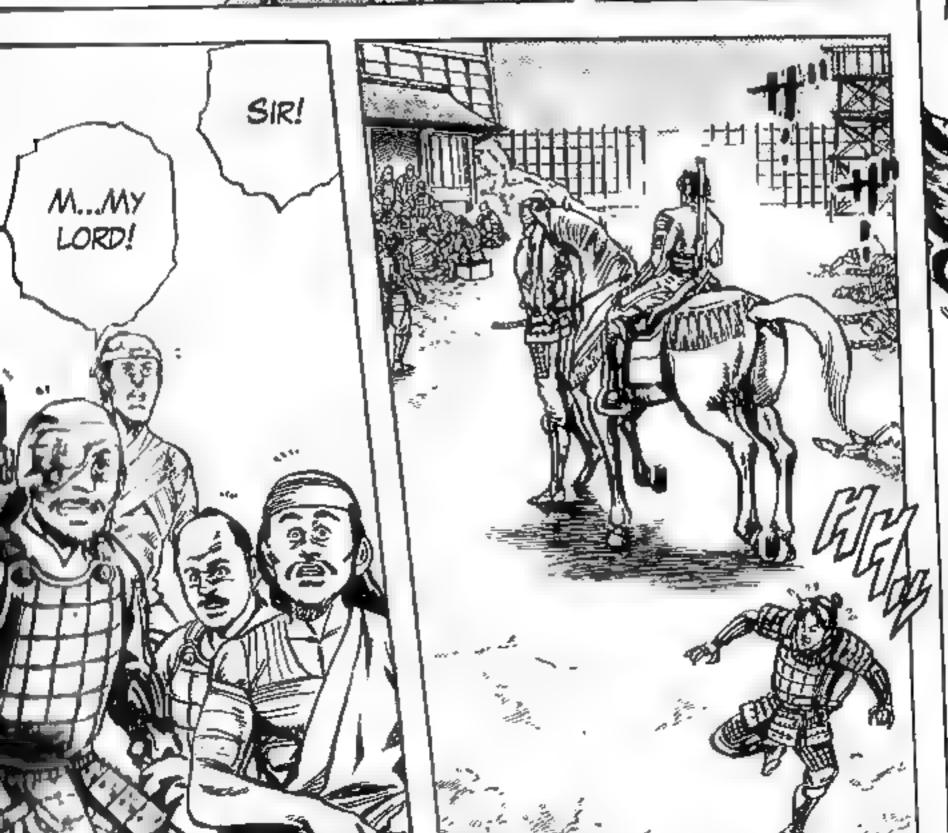
PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

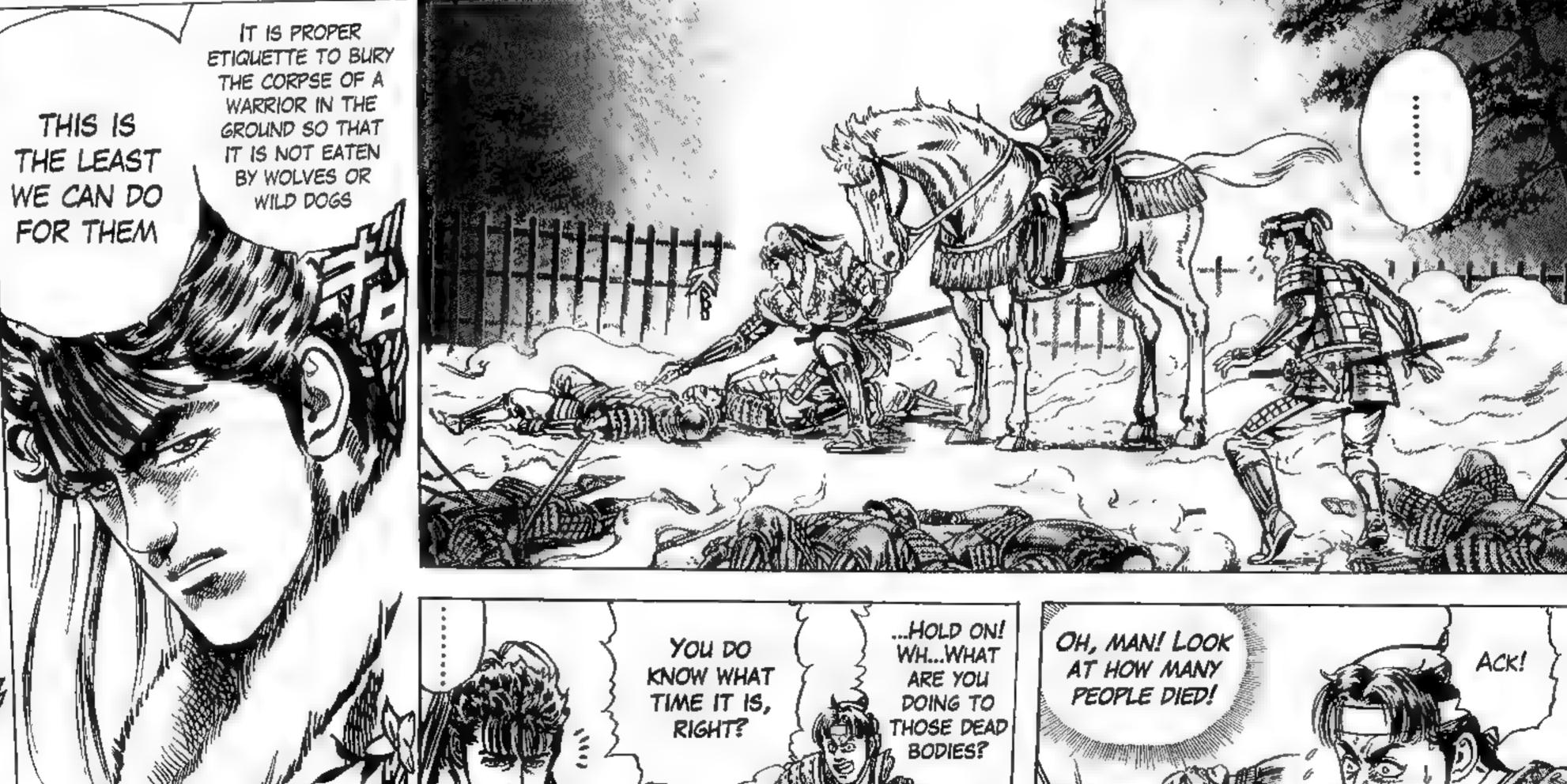
EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/























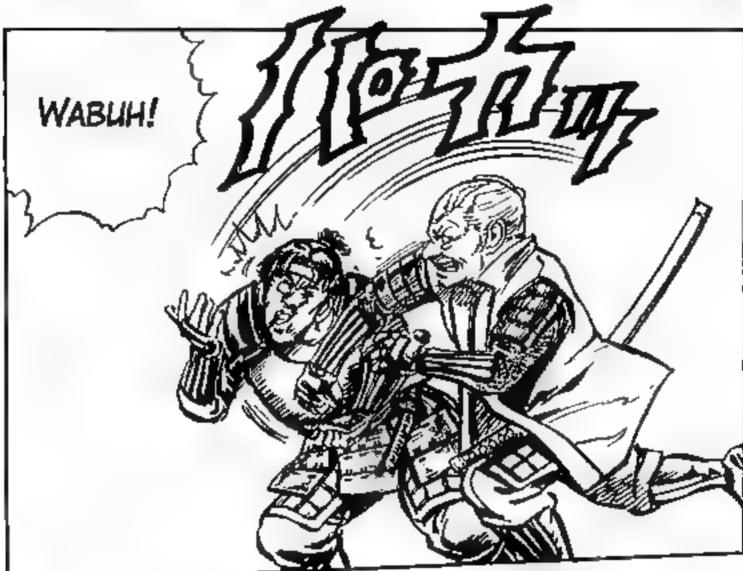




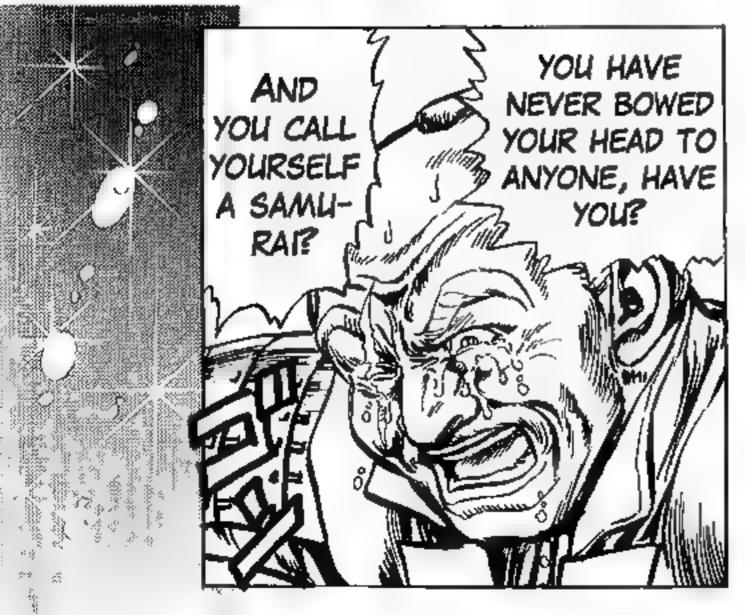




















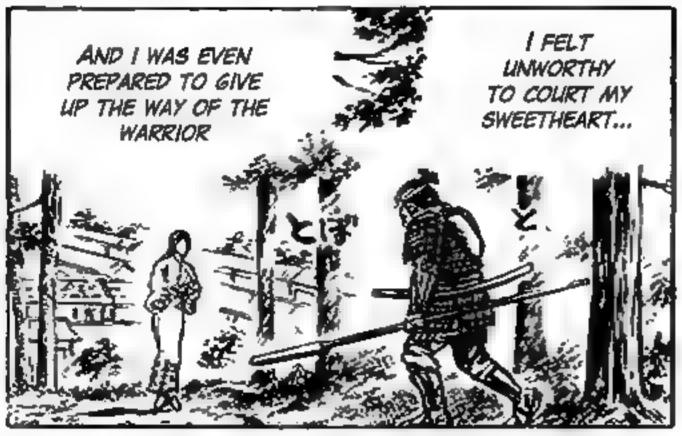


























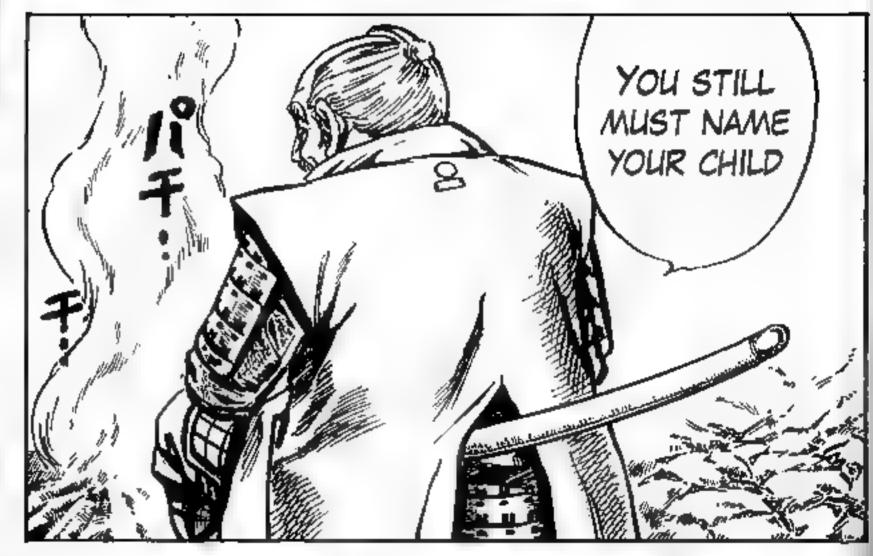
















花の慶次 壱 240







BUT I WAS BORN TO FIGHT, AND MY VERY NATURE WOULD NEVER ALLOW ME TO RETREAT WE ARE FREE TO CHOOSE WHETHER TO LIVE OR DIE























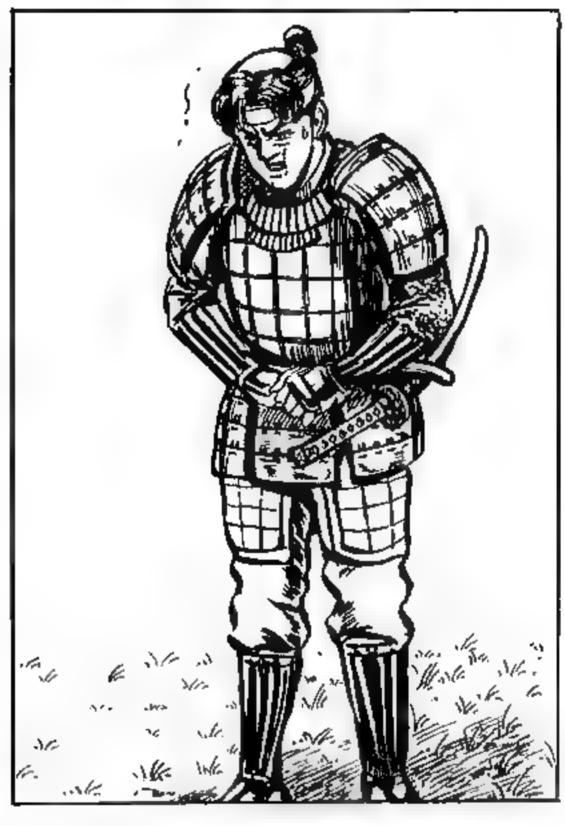






















・05)。または、慶長17年まで生きたという説

るのに対し、慶次郎の没年は慶長10年(16

ただし、利家が慶長4年に3歳で没してい

もある。これを考慮すれば、慶次郎の生年は

利家に遅れること5、6年と考えてもいいの

ではないだろうか。

非常に資料に乏しい人物である。 の主人公となった前田慶次郎利益という人は 「花の慶次」と、その原作小説「一夢庵風流記」

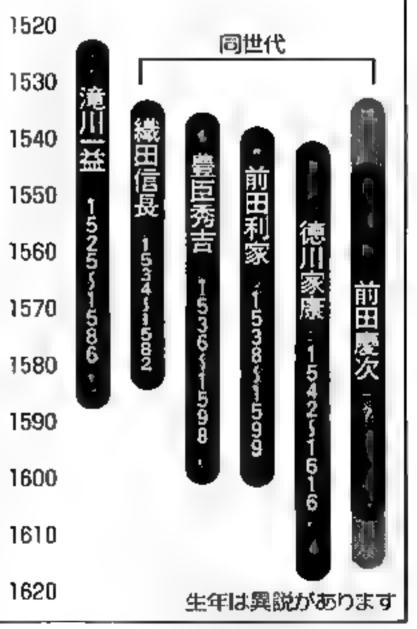
生年諸説有り!

が有力ともいう。また「米澤人國記」において 生まれとされる義理の叔父の前田又左衛門利 にしてみれば、前田慶次郎が利家より年上と 家より5歳の年長になる。『花の慶次』の読者 年(1533)ともいえば、天文10年(1541) ことだろう。 いうのは、どうにも違和感をおぼえてしまう は、天文12~13年頃生誕という記述がある。 その生没年に関しても諸説があり、天文2 もし天文2年生まれとすると、天文7年の

は、これら戦国史上の有名人とほぼ同世代人 家康は利家の4歳年下であった。 と考えていい。 ちなみに豊臣秀吉は利家の2歳年上。 前田慶次郎 徳川

ある。 放浪することが長かったため、 民階級の出身だったうえ、 に限ったことではない。 るまでの事績を伝える資料は多分に伝奇的で この戦国期、 資料が少ないのは何も慶次郎 豊臣秀吉は下層の農 幼少期に家を出て 織田家に仕え

氏の著作 の不透明さを指摘されている。 徳川家康にしても、 『史疑徳川家康事跡』で、その出自 明治時代に村岡素一郎 隆慶一郎の代



慶次と主要人物たちの生年表

「花の慶次」の世界を作り上げた人たちは、 何を考え、どう生きたのか

まかの間では有名なエピソードである。 表作のひとつである「影武者徳川家康」が、

◆男が見る夢の男◆

世ていたという説を展開している。 ・の記録がない。原作者・隆慶一郎はこの間、 ・の記録がない。原作者・隆慶一郎はこの間、 ・の記録がない。原作者・隆慶一郎はこの間、 ・の記録がない。原作者・隆慶一郎はこの間、 ・を次郎も少年期に尾張・荒子城を追われて

織田信長の関東方面司令官として、関東の雄・

「花の慶次」においても、第一話は滝川一益が

北条家と対峙するシーンから始まった。

一益はほうほうの体で、上方へ逃げ帰ったと、、一つではいいでは、この後すぐに本能寺の窓が、一点にある。信長の感時、「進むも滝川、退くも滝川」と、その戦さ上手ぶりを謳われた常勝将軍の滝川」と、をの戦さ上手ぶりを謳われた常勝将軍の滝川」と、をははほうほうの体で、上方へ逃げ帰ったと、をの戦さ上手がりを謳われた常勝将軍の滝川」と、をははいいでは、この後すぐに本能寺の変が勃然の場合に、





されている。

でしないしておれる

要臣秀吉の天下になった頃、すでに前田慶次郎は戦国武者として天下に隠れない名士でかったという。これが事実とするなら、慶次の武名はどこで築かれたものだったのだろうか。勝ち戦さであれば記録が残っているだけたと考えるしかない。となると負け戦さの中で、よほど余人の印象に残る戦いぶりを見せたと考えるしかない。となると負け戦さのはたと考えるしかない。となると負け戦さのが、最次がは、まではなかったか。

慶次郎をめぐる空想の楽しさはつきない。 取ったのではないだろうか。記録が少ない分、な想像を抱きながら「一夢庵風流記」の筆をと進退する慶次郎の巨躯。隆慶一郎も、そん壊走する滝川軍にあって、ひとり威風堂々

高道大学

リティーは確保できますから。 た。2年くらいは苦労しまし 絵巻を参考にしたりとか。 うんですね。その分、時代考 ではよかったのかもしれない。 た。慶次の資料が少ないのは ラというのが、それまでの自 というのは資料の考え方が違 舞台設定とそこで動くキャラ 時代考証の資料があればリア 創造しやすかったという意味 阷の資料は本当に集めました。 分になくて、笑顔が難しかっ っていることは? 関気だけど凄みのあるキャ 一度次がしたことで気に入

思って描いていました。 にころが思い出に残ってますね。 にころが思い出に残ってますね。 はでしょう。ここが大事だと はでしょう。ここが大事だと はでしょう。これが表するの対面のと

甲冑の上からまとったもの。戦場でこ

本来、

母衣とは、

矢や雨を防ぐため

母衣武者、母衣衆といった。

の母衣をまとって軍令を伝える武士を

を彩る言葉の数々。 の背景を巻の壱から探る

> が知られるようになったのは、中世史 学の網野喜彦氏の研究成果が火をつけ ぶく」から。 しかし、 た中世ブーム以降と思われる。それま で日の目を見なかった漂泊民や絵巻に 一般にこの言葉

をいう。

歌舞伎の元となった言葉「か

異彩を放つ風体やその行動をする者

「傾奇者

かぶきもの

現れる異風の傾奇者によって、豊潤な 中世の世界が知られるようになった。

姓、苗字の違いは、源氏など天皇か

2

もののふ

朝廷で武力をもって仕えた物部氏から きた言葉といわれている。他に武士を 武士の読みとして知られるが、大和

「花の慶次」

世代でその家の家名になるということ が起きたそうだ。滝川から前田利久に 学院大学の岡野友彦教授『源氏と日本 私称する家の名前である。「源朝臣」 ら与えられたものを姓といい、苗字は 系制で相続されるため、婿の苗字が次 もおかしくなかったわけだ。 養子に出された慶次は、滝川が苗字で 臣」はカバネといわれる格を表す。 国王』によれば、家名である苗字は父 という姓の場合、「源」が姓であり「朝 围

つわもの(兵)などとも呼んだ。

【母衣衆 ほろしゅう】

[慶次の苗字は

さらに幼名や通称、号なども使われる 名は現代から見ると複雑に見える。姓 けられるシーンがあるが、戦国武将の (氏)、苗字(名字)、本名があって、 前田利家が秀吉より又左殿と呼びか

れているが、異説もある。 からだ。慶次の場合、慶次郎利益とさ

石川県) 能登(7 末森城 加賀(石川県) 尾山城(金沢)

上州(群馬県) 厩橋城 鉢形城

助右衛門の守る能登の末森城となる。 **話以降は北陸に舞台は移り、金沢と奥村** 北条戦のため上州に登場する慶次。第二

第一話にて、織田方の滝川軍として対

花の慶次」 巻の壱。 主戦場となった地を 俯瞰する――。



衝撃ネタの数々をお届けしやす! 『花の慶次』全編を探っていえば、旦那だけじゃねえぜ! 『花の慶次』全編を探って『花の慶次』のヒーローと

(そうて) が犬干代だったもんだから、「お犬」 かも、屋敷の中ならまだしも、町中で わりされて以後、ことあるごとに、猿 が犬干代だったもんだから、「お犬」 が犬干代だったもんだから、「お犬」 に猿扱いするとは、さすが旦那だ。し

たいだというし、どうやら元を礼せば、 を呼んだといいる者・信長様 を呼んだとい

うまいこというという気も、

上は古屋七郎

上は古屋七郎兵衛。カッコに大衛、カッコにこれはつらい。左は主馬。確かに笑ってるかに見える。

で記しまなら、松風狼藉

そうですな

職られる姿が実に似合っていた。 一一の日にかませる金具だが、「クッ で大変だ。この松風、旦那と意気投合 ら大変だ。この松風、旦那と意気投合 ら大変だ。この松風、旦那と意気投合 が入っているだけあって、権威もへったくれも なく好き放題! 主馬なんか名前に馬 なく好き放題! 主馬なんか名前に馬 なく好き放題! 主馬なんか名前に馬 なくがきないるだけあって、権威を が入っているだけあって、権威を が入っているだけあって、権威を が入っているだけあって、権威を が入ったくれも

Text:TANAKA akira,UTSURO hiroshi Design: & SPICE INC.

の出会い 牛牛と

夏の湿っぽい夜風が吹き抜ける仕事場で、僕は、日記を読み返している。

平成元年7月31日

(於) 東京医科大付属病院。

隆慶一郎先生の見舞い。

担当の堀江氏同行。

先生は、点滴の器具をつけたまま

白髪の長い髪を無造作にかきあげて

現れられた。病状、気がかり。

この日が、僕と隆先生との、初めての出会いだった。

次回作は、戦国時代を舞台にと、勉強を重ねていくうちに、 **『一夢厖風流記』**

と出会いその主人公、前田慶次郎に魅了され、是非、原作を書いていただきた

いとお願いに行ったのだ。

ただ、先生は予想以上に病んでおられ、担当ともども、 その願いを口にする

ことができず、その日は引き上げた。

でも、僕はどうしても先生の原作をあきらめることができなかった。僕は前

田慶次郎に心底惚れていたからだ。漫画家は、主人公のキャラクターに惚れて

いなければ、一ページたりとも描くことはできない。『北斗の拳』のケンシロウ

以外、 もう誰も好きになれなかった僕には衝撃だったのだ。 原作がだめでも、

とにかく慶次郎を生んだ先生の頭の中がのぞきたかった。

そこで僕は、勉強不足の愚問であれ、ひたすら先生に質

問をあびせる作戦に

そして、ある日、奇跡がおきた。

ず、身勝手にも担当者ともどもひたすら喜んだ。 は、原作を書くといわれているのだ。その時はまだ、先生の真実の病状も知ら からず担当者と顔を見あわせる。『だから、なんページだ?』僕は驚いた。先生 『おれにどうしろというんだ?』と先生がいわれる。初め、なんのことだかわ

叱りの声が多い。 いのかい?』『これじゃあ、慶次郎のキャラが台なしじゃないか!』どうも、お 今、前田慶次郎を描いていると、時に、先生の声が聞こえる。『こんな話でい しかし、先生は、それから頂いた原作の完成漫画原稿を見ることなく逝かれた。

描きたい。 でも、いつか、『まあ、いいだろう。』そんな声が聞こえてくるように精一杯

忘れられない夏の一夜である。 一度だけ先生と銀座で飲んだ。おれの青春の歌だと、上海の歌を歌ってくれた。 夜風に乗って、どこからともなくカラオケの歌声が聞こえる。そういえば、

おれにどうしろという

んだ?

らである。 [思えば6年たつ。60歳を迎え、遠暦とやらいって奇妙な赤子に戻った日か

でなく文章に、 構成したいと決意した』 私はそれまでの生き方に倦んでいた。新しい生き方をしたいと思い、映像 それも伝奇的手段、及び文章を使いながら、歴史的事実を再

えた11月4日、肝不全のため永眠につかれた。日本経済新聞の夕刊小説を初 ともに、その時代小説の新境地を切り拓いて脚光を浴びたが、同賞受賞式を控 な執筆活動を展開した。6年という僅かの間に世に送り出した著作はその景と で第二回柴田錬三郎賞に輝いた隆慶一郎先生の受賞の言葉である。 60歳で文壇にデビュー。この言葉にある決意の下に超人的ともいえる精力的 1989 (昭和4)年11月15日、『花の慶次』の原作本で 数々の雑誌で連載中のことだった。 ある「一夢庵風流記」

め、

だった。でも、先生は書かない我々に の頃、 先生を慕って飲みに連なって歩いていた不良生徒が大勢いた。私もその一人 私が先生の門下生になったのは、先生が小説を書き初める数年前である。そ 先生は脚本家として活躍中だった。先生の周りには一本も書かず、ただ

あった。 後に小説家になられてから、あの時、 「お前ら何しに来てるんだ」と一言もいわない。そこがよかった。 何もいわなかった理由を尋ねたことが 仲々踏み出せなかった。60

「僕だってね、ずっと小説を書こうと思いながら、

歳になってからやっとですよ。ふんぎりがついたのは…。 ち、よくわかってね」 だから君たちの気持

かった。 先生は上からしかものを見れぬ人ではなかった。だから決して人を差別しな

先生は自分自身を描いていたのだ。 生は会う人ごとにいっていた。歴史という舞台を借りて前田慶次郎を通して、 も面白ければ熱心に耳を傾けた。その、上ナシ、の信条は先生の小説の根拠とな ている。「馬と話せる男なんていいだろう」。小説連載がスタートしたところ先 っているように思う。『一夢庵風流記』の前田慶次郎にもその色彩が濃く現われ 納得いかなければどんな人だろうと衝突したが、反面、 どんな若輩者の話で

ば、 た時、すでに病床につかれていたが、原作執筆に意欲的だった。しかし、体力 られたのか、今となっては分からない。本当に無念である。 は逝かれて仕舞われた。だからマンガ化に当たり、どのような構想を持ってお の消耗が激しく弟子の私が不遜ながら助っ人として企画に加わった直後、先生 先生は書物にも差別がなかった。難しい歴史の専門書を山ほど読むかと思え マンガもこよなく愛した。だから『一夢庵風流記』のマンガ化の話があっ

主人公の慶次を初め、主な登場人物のキャラクターは、 を実現させたいと思い、走り始めた。原作通りにいかない箇所や原作を越えら るか、やってみるだけやろうと思っている。 メージと違わぬようにしたいと思う。マンガとして慶次の魅力にどこまで迫れ れない箇所など、小説を読んだ読者には不満な部分もあるかもしれない。だが だが、残されたスタッフで何とか先生の遺志でもあったこの小説のマンガ化 できる限り原作のイ

先生は自分自身を描いていたのだ。

-0XUE 4 UOE-UN

完全坂 第一巻 巻のかなたに 一次の 慶次 人一雲のかなたに

2009年8月10日 9刷発行2004年11月5日 初版発行

原作 隆慶一郎 CRyū Keiichiro 2004

原 哲夫©Hara Tetsuo 2004

漫

画

本 麻生未央 CAsō Mio 2004

脚

発行人 佐藤 憲

編集人川田修

株式会社 徳間書店

発行所

版売管理部TEL048-45--5960 編集部TEL03-5403-4379 編集部TEL03-5403-4379

株式会社コアミックス競

TEL 0422-29-04-4 Http://www.coamix.co.jp http://www.coamix.co.jp

コンテンツ配給株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ

TEL 0422-29-04-2吉祥寺本町--3-11 KSビル4FF180-0004東京都武蔵野市

印刷·製本 大日本印刷株式会社



HANA NO KEIJI

CHAPTER 08 BY HOKUTO NO GUN

RAW PROVIDER: CALZONE

TRANSLATION: SYSTEMATICCHAOS

PROOFREADERS: DESTROYER RING & LOH

EDITOR: CALZONE

HTTP://WWW.HOKUTONOGUN.COM/ HTTP://HOKUTONOGUN.INVISIONZONE.COM/